

# 企業経営者意識調査

## 令和4年7-9月の概要

P 1

## 調査結果

- |   |               |      |
|---|---------------|------|
| 1 | 経営状況          | P 4  |
| 2 | 雇用状況          | P 8  |
| 3 | 在庫、価格水準       | P 12 |
| 4 | 設備投資の状況       | P 14 |
| 5 | 地域別にみる各産業の動向  | P 16 |
| 6 | 道内の景況感        | P 24 |
| 7 | 業種・地域別企業経営者の声 | P 25 |
| 8 | 業況感の長期推移      | P 30 |
- 

## 特別調査

- |   |                          |      |
|---|--------------------------|------|
| 1 | 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について | P 31 |
| 2 | 原油・原材料価格高騰の影響について        | P 39 |

## 調査方法

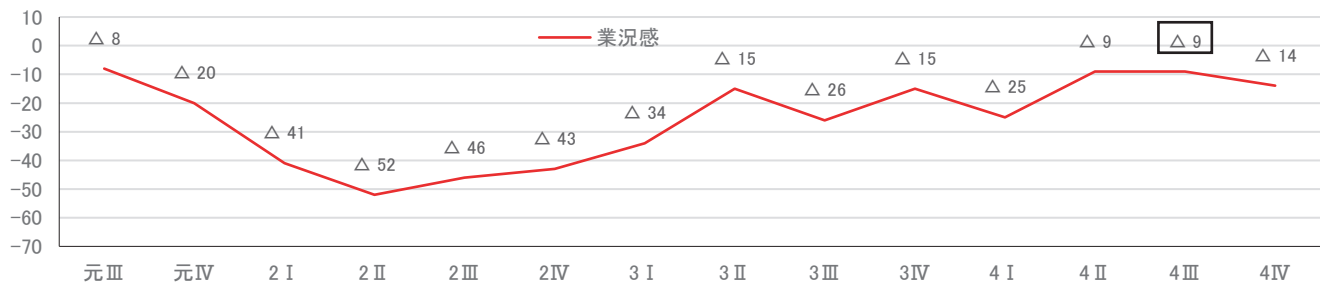
P 41

# 1 令和4年7-9月の概要

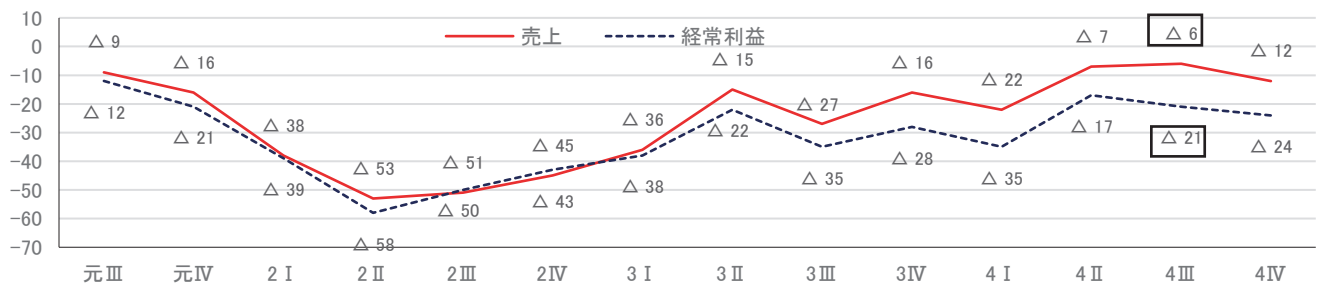
## 1 概況

- 調査対象企業数は900社、回答者数は521社、回答率は57.9%
- 業況感は、前期から横ばいで△9ポイント。来期見通しは△14ポイント。
- 売上は、前期から1ポイント上昇し△6ポイント。
- 経常利益は、前期から4ポイント下落し△21ポイント。
- 資金繰りは、前期から1ポイント下落し△9ポイント。
- 雇用者の不足感は、前期から6ポイント上昇し43ポイント。
- 原材料価格（製造業）は、前期から9ポイント上昇し98ポイント。
- 仕入価格（卸売・小売業）は、前期から4ポイント上昇し80ポイント。
- 道内の景況感は、前期から2ポイント下落し△10ポイント。

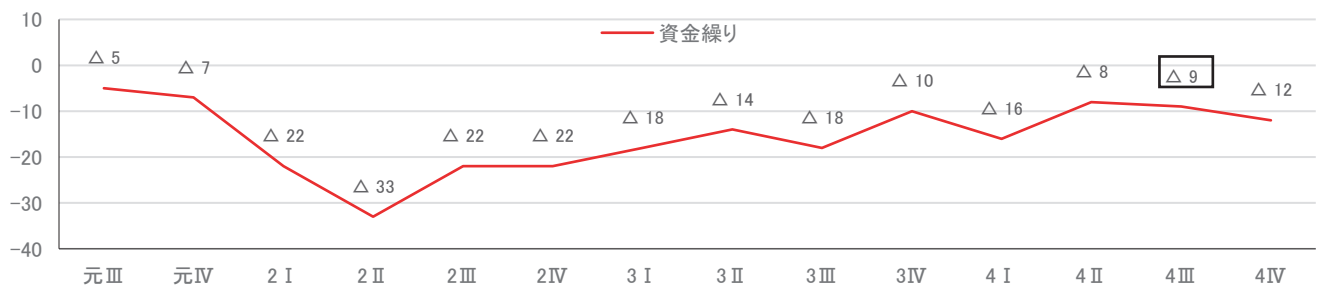
(1) 業況感（「上昇」－「下降」）



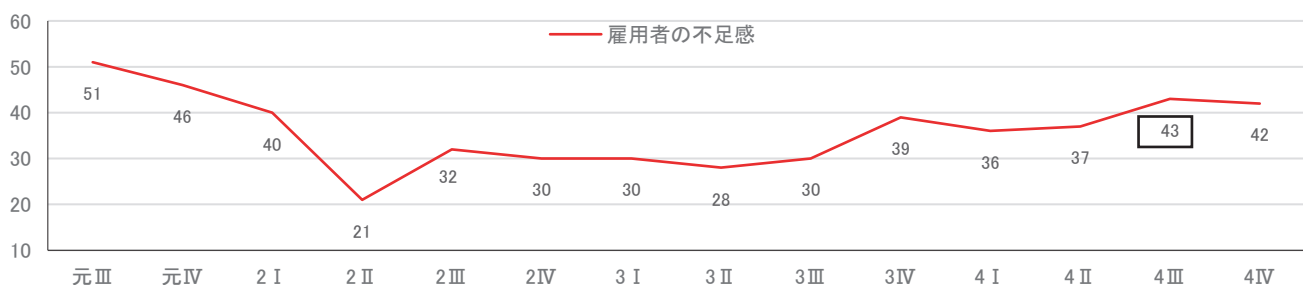
(2) 売上・経常利益（「増加」－「減少」）



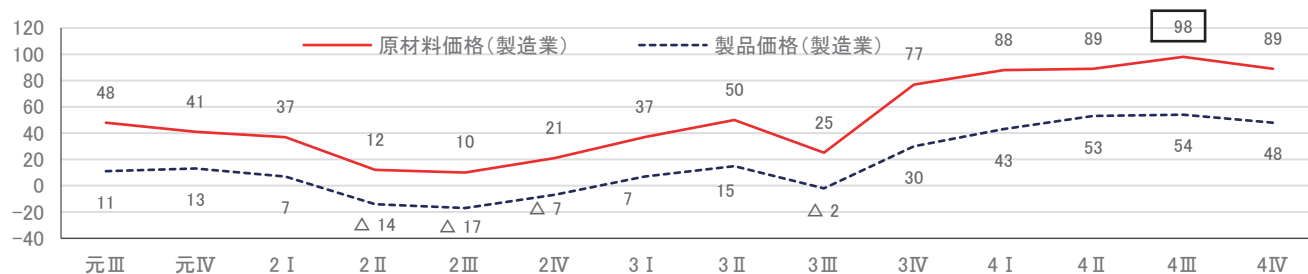
(3) 資金繰り（「改善」－「悪化」）



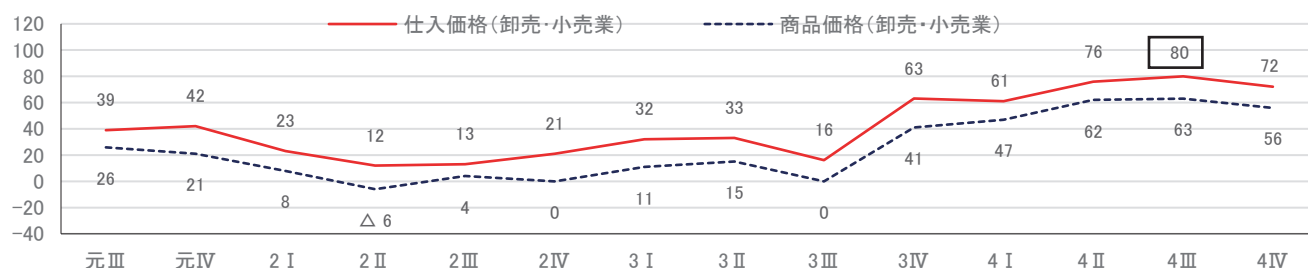
(4) 雇用者の不足感（「不足」－「過剰」）



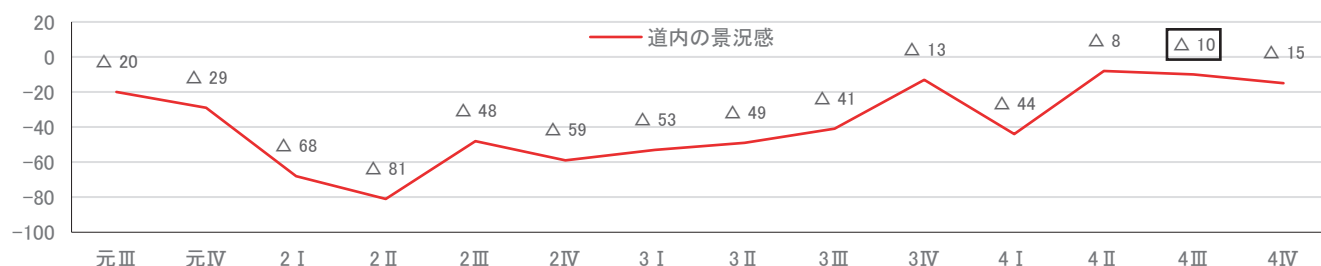
(5) 原材料価格・製品価格 [製造業] (「上昇」-「下降」)



(6) 仕入価格・商品価格 [卸売・小売業] (「上昇」-「下降」)



(7) 道内の景況感 (「上昇」-「下降」)



2 業種別・地域別の業況感

- 業種別では、サービス業がプラスに転換、卸売・小売業で横ばい、その他の業種で下降。
- 地域別では、道央がプラスに転換、オホーツク地域で上昇、その他の地域で下降。

(1) 今期実績と来期見通し

区分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し					
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
総計	△9	17	57	26	△9	0	10	66	24	△14	△5	
業種	建設業	△12	4	72	24	△20	△8	2	71	27	△25	△5
	製造業	△20	11	51	38	△27	△7	6	59	35	△29	△2
	卸売・小売業	△7	24	45	31	△7	0	13	61	26	△13	△6
	運輸業	△4	17	59	24	△7	△3	10	76	14	△4	3
	サービス業	△3	25	56	19	6	9	15	66	19	△4	△10
資本金	5千万円未満	△15	15	56	29	△14	1	10	63	27	△17	△3
	5千万円以上~1億円未満	1	19	61	20	△1	△2	9	71	20	△11	△10
	1億円以上	5	22	58	20	2	△3	14	71	15	△1	△3
地域	道南	△8	15	55	30	△15	△7	11	61	28	△17	△2
	道央	△4	20	61	19	1	5	14	70	16	△2	△3
	道北	△6	20	53	27	△7	△1	8	62	30	△22	△15
	オホーツク	△19	18	52	30	△12	7	6	68	26	△20	△8
	十勝	△8	10	56	34	△24	△16	8	59	33	△25	△1
	釧路・根室	△22	10	48	42	△32	△10	2	62	36	△34	△2

## (2) 業種別の主な上昇・下降業種 [中分類]

(括弧内の数字は、前期→今期の変化)

大分類	上昇業種	下降業種
建設業 (△12→△20)	設備工事業 (△14→10)	総合工事業 (△13→△22)
製造業 (△20→△27)	金属製品製造業 (△33→△12) 輸送用機械器具製造業 (△50→△40) 窯業・土石製品製造業 (△20→0)	木材・木製品製造業 (57→0) 生産用機械器具製造業 (△50→△70) 食料品製造業 (△7→△18)
卸売・小売業 (△7→△7)	飲食料品小売業 (16→50)	飲食料品卸売業 (20→9) 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 (0→△6) 繊維・衣服等卸売業 (0→△50) 機械器具小売業 (△42→△47) 機械器具卸売業 (0→△20)
運輸業 (△4→△7)	道路貨物運送業 (△38→△31) 道路旅客運送業 (33→39)	倉庫業 (6→△19)
サービス業 (△3→6)	飲食店 (8→22) 宿泊業 (34→59) 物品賃貸業 (△15→17) 洗濯・理容・美容・浴場業 (△31→△7) 自動車整備業 (△23→△19)	情報サービス業 (△5→△20) 技術サービス業 (△11→△13)

## (3) 地域別の上昇・下降業種 [大分類]

(括弧内の数字は、前期→今期の変化)

地 域	上昇業種	下降業種
道南 (△8→△15)	建設業 (△18→△9) 運輸業 (△13→△12)	製造業 (△6→△8) 卸売・小売業 (△15→△43) サービス業 (5→0)
道央 (△4→1)	製造業 (△25→△19) 卸売・小売業 (2→12) サービス業 (0→9)	運輸業 (7→4)
道北 (△6→△7)	運輸業 (△9→8)	建設業 (0→△13) 製造業 (△27→△35)
オホーツク (△19→△12)	卸売・小売業 (△20→△14) 運輸業 (△34→△18) サービス業 (0→16)	建設業 (△38→△45)
十勝 (△8→△24)	建設業 (△20→△18) サービス業 (△20→23)	製造業 (0→△75) 卸売・小売業 (△8→△25) 運輸業 (9→△50)
釧路・根室 (△22→△32)	卸売・小売業 (△38→△22) 運輸業 (△8→0)	建設業 (0→△36) 製造業 (△40→△60) サービス業 (△29→△44)

## 2 調査結果

### 1 経営状況

#### (1) 業況感

##### 今期の業況感BSIは△9（前期から横ばい）

- ・業種別にみると、サービス業はプラスに転換、卸売・小売業は横ばい、建設業、製造業、運輸業はマイナス幅が拡大。
- ・地域別にみると、道央はプラスに転換、オホーツクはマイナス幅が縮小、道南、道北、十勝、釧路・根室はマイナス幅が拡大。

##### 来期の業況感BSIは△14（今期から5ポイント下降）

図1-(1) 業況感

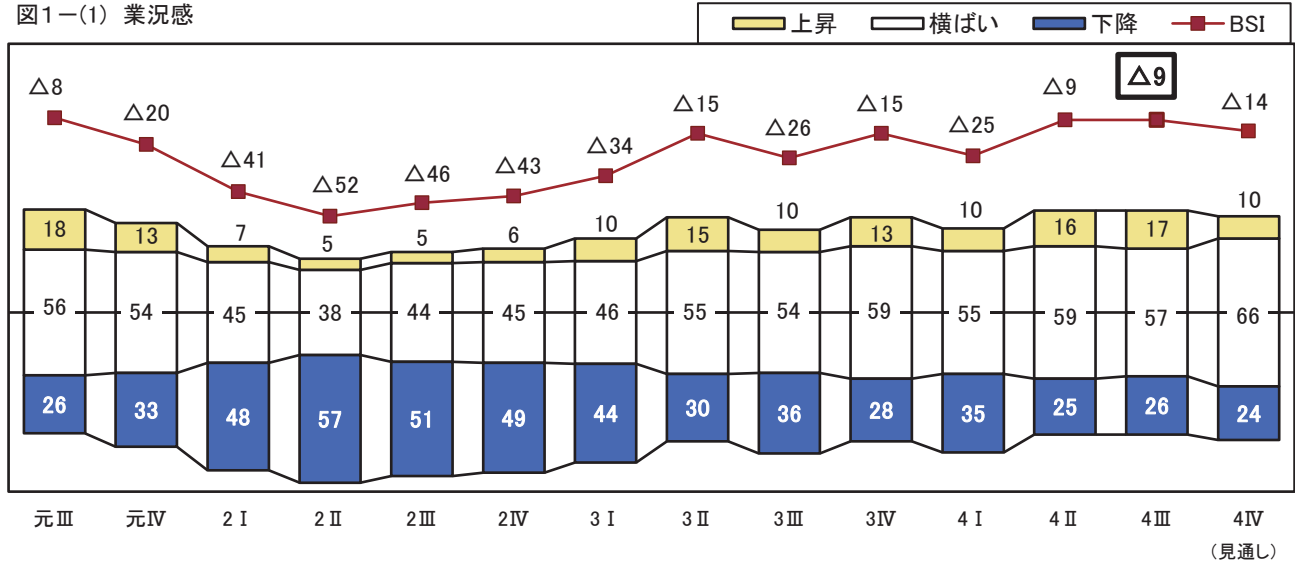


表1-(1) 業況感(業種・資本金・地域別)

区分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総計	△ 9	17	57	26	△ 9	0	10	66	24	△ 14	△ 5
札幌市を除く	△ 12	16	55	29	△ 13	△ 1	9	64	27	△ 18	△ 5
札幌市	2	21	62	17	4	2	14	72	14	0	△ 4
業種											
建設業	△ 12	4	72	24	△ 20	△ 8	2	71	27	△ 25	△ 5
製造業	△ 20	11	51	38	△ 27	△ 7	6	59	35	△ 29	△ 2
卸売・小売業	△ 7	24	45	31	△ 7	0	13	61	26	△ 13	△ 6
運輸業	△ 4	17	59	24	△ 7	△ 3	10	76	14	△ 4	3
サービス業	△ 3	25	56	19	6	9	15	66	19	△ 4	△ 10
資本金											
5千万円未満	△ 15	15	56	29	△ 14	1	10	63	27	△ 17	△ 3
5千万円以上～1億円未満	1	19	61	20	△ 1	△ 2	9	71	20	△ 11	△ 10
1億円以上	5	22	58	20	2	△ 3	14	71	15	△ 1	△ 3
地域											
道南	△ 8	15	55	30	△ 15	△ 7	11	61	28	△ 17	△ 2
道央	△ 4	20	61	19	1	5	14	70	16	△ 2	△ 3
札幌市を除く	△ 12	18	61	21	△ 3	9	13	70	17	△ 4	△ 1
札幌市	2	21	62	17	4	2	14	72	14	0	△ 4
道北	△ 6	20	53	27	△ 7	△ 1	8	62	30	△ 22	△ 15
オホーツク	△ 19	18	52	30	△ 12	7	6	68	26	△ 20	△ 8
十勝	△ 8	10	56	34	△ 24	△ 16	8	59	33	△ 25	△ 1
釧路・根室	△ 22	10	48	42	△ 32	△ 10	2	62	36	△ 34	△ 2

(2) 売上(生産)高

今期の売上(生産)高BSIは△6(前期から1ポイント上昇)

- ・ 業種別で見ると、サービス業はプラスに転換、卸売・小売業はプラス幅が拡大、運輸業はマイナス幅が縮小、建設業、製造業はマイナス幅が拡大
- ・ 地域別で見ると、道央はプラスに転換、オホーツクはマイナス幅が縮小、道南、道北、十勝、釧路・根室はマイナス幅が拡大

来期の売上(生産)高はBSIは△12(今期から6ポイント下降)

図1-(2) 売上(生産)高

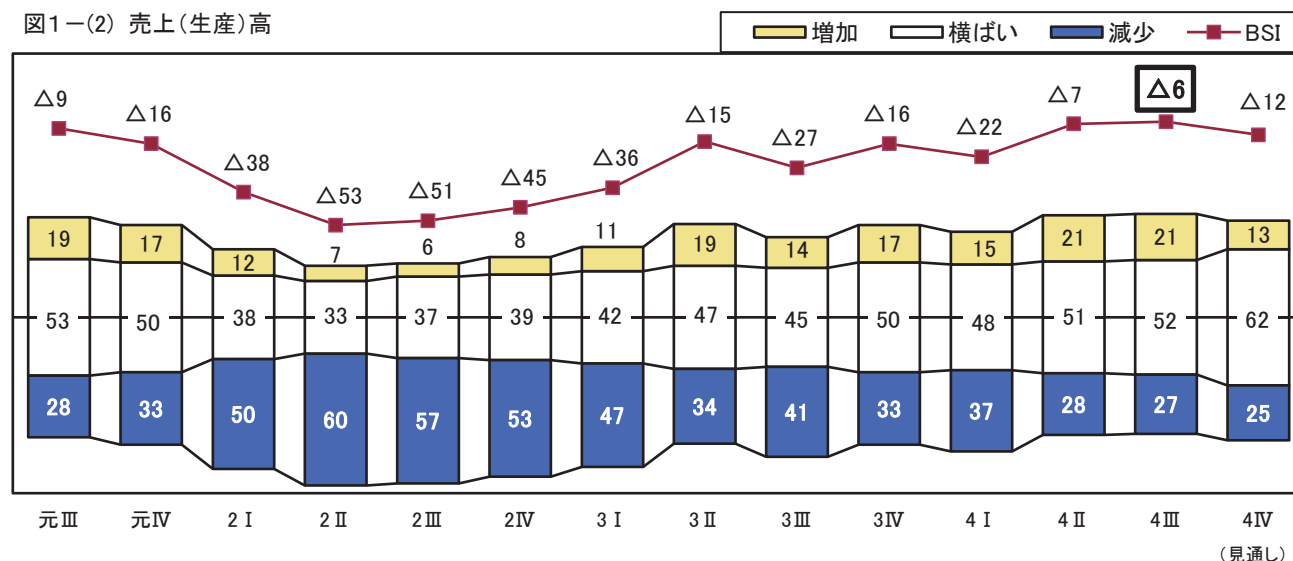


表1-(2) 売上(生産)高(業種・資本金・地域別)

区分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総計	Δ 7	21	52	27	Δ 6	1	13	62	25	Δ 12	Δ 6
札幌市を除く	Δ 9	19	52	29	Δ 10	Δ 1	12	61	27	Δ 15	Δ 5
札幌市	Δ 1	29	54	17	12	13	17	64	19	Δ 2	Δ 14
業種											
建設業	Δ 19	8	63	29	Δ 21	Δ 2	4	63	33	Δ 29	Δ 8
製造業	Δ 13	13	57	30	Δ 17	Δ 4	13	57	30	Δ 17	0
卸売・小売業	1	32	39	29	3	2	16	55	29	Δ 13	Δ 16
運輸業	Δ 5	21	54	25	Δ 4	1	15	69	16	Δ 1	3
サービス業	Δ 4	28	50	22	6	10	17	64	19	Δ 2	Δ 8
資本金											
5千万円未満	Δ 14	18	52	30	Δ 12	2	12	58	30	Δ 18	Δ 6
5千万円以上~1億円未満	Δ 1	27	50	23	4	5	13	65	22	Δ 9	Δ 13
1億円以上	17	27	57	16	11	Δ 6	22	73	5	17	6
地域											
道南	Δ 7	16	58	26	Δ 10	Δ 3	11	63	26	Δ 15	Δ 5
道央	Δ 4	25	54	21	4	8	17	65	18	Δ 1	Δ 5
札幌市を除く	Δ 8	20	54	26	Δ 6	2	16	67	17	Δ 1	5
札幌市	Δ 1	29	54	17	12	13	17	64	19	Δ 2	Δ 14
道北	Δ 1	23	46	31	Δ 8	Δ 7	14	55	31	Δ 17	Δ 9
オホーツク	Δ 20	20	53	27	Δ 7	13	8	60	32	Δ 24	Δ 17
十勝	Δ 8	16	50	34	Δ 18	Δ 10	12	58	30	Δ 18	0
釧路・根室	Δ 19	14	51	35	Δ 21	Δ 2	8	59	33	Δ 25	Δ 4

(3) 経常利益

**今期の経常利益BSIは △21 (前期から4ポイント下降)**

- ・ 業種別で見ると、サービス業はマイナス幅が縮小、製造業は横ばい、建設業、卸売・小売業、運輸業はマイナス幅が拡大
- ・ 地域別で見ると、道南、オホーツクはマイナス幅が縮小、道央、道北、十勝、釧路・根室はマイナス幅が拡大

**来期の経常利益BSIは △24 (今期から3ポイント下降)**

図1-(3) 経常利益

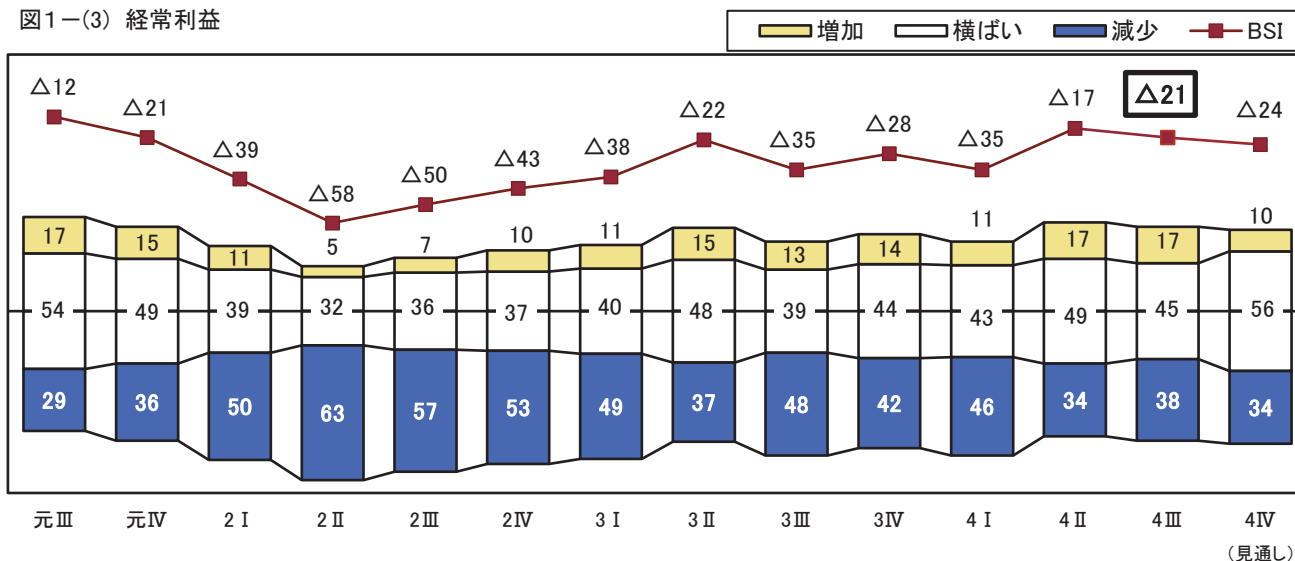


表1-(3) 経常利益(業種・資本金・地域別)

区分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総計	△ 17	17	45	38	△ 21	△ 4	10	56	34	△ 24	△ 3
札幌市を除く	△ 21	15	44	41	△ 26	△ 5	8	56	36	△ 28	△ 2
札幌市	△ 7	25	48	27	△ 2	5	15	58	27	△ 12	△ 10
業種											
建設業	△ 24	3	55	42	△ 39	△ 15	2	55	43	△ 41	△ 2
製造業	△ 36	13	38	49	△ 36	0	9	42	49	△ 40	△ 4
卸売・小売業	△ 9	25	35	40	△ 15	△ 6	10	54	36	△ 26	△ 11
運輸業	△ 17	14	46	40	△ 26	△ 9	10	65	25	△ 15	11
サービス業	△ 8	25	49	26	△ 1	7	15	61	24	△ 9	△ 8
資本金											
5千万円未満	△ 22	14	45	41	△ 27	△ 5	10	53	37	△ 27	0
5千万円以上～1億円未満	△ 12	21	42	37	△ 16	△ 4	7	61	32	△ 25	△ 9
1億円以上	△ 4	24	52	24	0	4	15	61	24	△ 9	△ 9
地域											
道南	△ 26	13	51	36	△ 23	3	7	62	31	△ 24	△ 1
道央	△ 10	21	46	33	△ 12	△ 2	13	58	29	△ 16	△ 4
札幌市を除く	△ 13	16	45	39	△ 23	△ 10	12	57	31	△ 19	4
札幌市	△ 7	25	48	27	△ 2	5	15	58	27	△ 12	△ 10
道北	△ 13	20	42	38	△ 18	△ 5	9	56	35	△ 26	△ 8
オホーツク	△ 39	14	43	43	△ 29	10	8	48	44	△ 36	△ 7
十勝	△ 15	14	38	48	△ 34	△ 19	10	48	42	△ 32	2
釧路・根室	△ 29	8	47	45	△ 37	△ 8	2	55	43	△ 41	△ 4

(4) 資金繰り

**今期の資金繰りBSIは  $\Delta 9$  (前期から1ポイント下降)**

- ・ 業種別にみると、建設業はマイナスに転換、製造業、サービス業はマイナス幅が縮小、卸売・小売業、運輸業はマイナス幅が拡大
- ・ 地域別にみると、道北、オホーツク、十勝はマイナス幅が縮小、道南、道央、釧路・根室はマイナス幅が拡大

**来期の資金繰りBSIは  $\Delta 12$  (今期から3ポイント下降)**

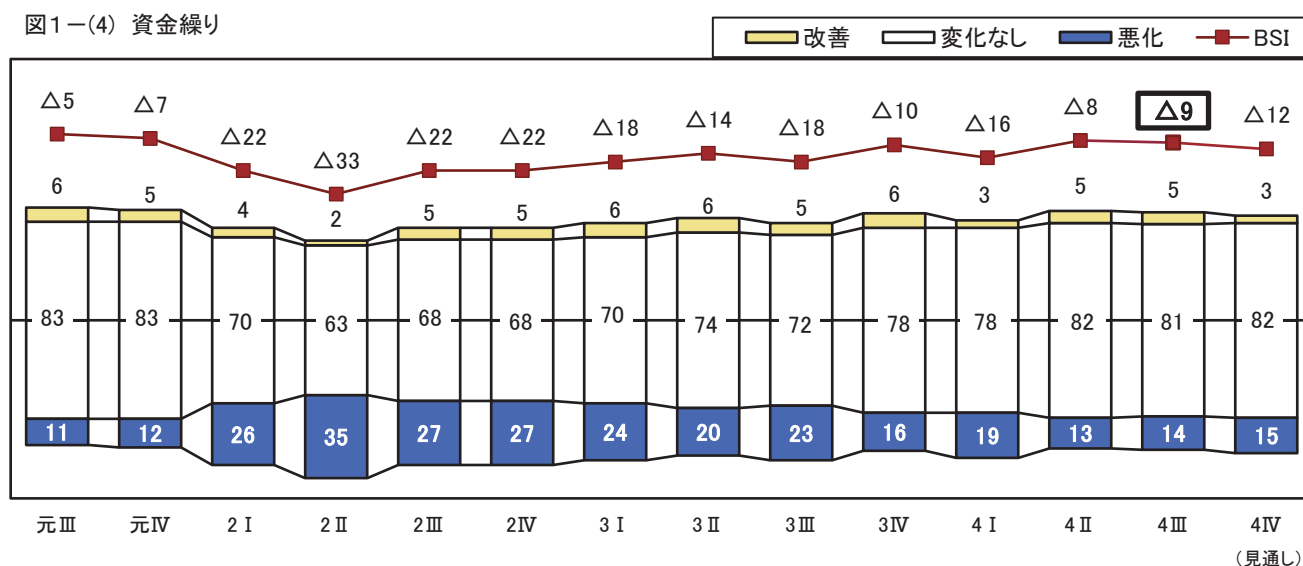


表1-(4) 資金繰り(業種・資本金・地域別)

区分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し				
		改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅	改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅
総計	△ 8	5	81	14	△ 9	△ 1	3	82	15	△ 12	△ 3
札幌市を除く	△ 10	5	82	13	△ 8	2	3	82	15	△ 12	△ 4
札幌市	△ 7	5	80	15	△ 10	△ 3	2	83	15	△ 13	△ 3
業種											
建設業	1	1	96	3	△ 2	△ 3	0	91	9	△ 9	△ 7
製造業	△ 20	0	83	17	△ 17	3	0	85	15	△ 15	2
卸売・小売業	△ 2	8	76	16	△ 8	△ 6	4	80	16	△ 12	△ 4
運輸業	△ 9	4	82	14	△ 10	△ 1	1	85	14	△ 13	△ 3
サービス業	△ 11	9	75	16	△ 7	4	5	78	17	△ 12	△ 5
資本金											
5千万円未満	△ 14	4	79	17	△ 13	1	3	80	17	△ 14	△ 1
5千万円以上～1億円未満	3	7	82	11	△ 4	△ 7	2	84	14	△ 12	△ 8
1億円以上	1	5	91	4	1	0	3	92	5	△ 2	△ 3
地域											
道南	△ 10	2	85	13	△ 11	△ 1	3	81	16	△ 13	△ 2
道央	△ 7	5	79	16	△ 11	△ 4	3	82	15	△ 12	△ 1
札幌市を除く	△ 7	6	77	17	△ 11	△ 4	4	80	16	△ 12	△ 1
札幌市	△ 7	5	80	15	△ 10	△ 3	2	83	15	△ 13	△ 3
道北	△ 9	5	86	9	△ 4	5	3	84	13	△ 10	△ 6
オホーツク	△ 9	4	92	4	0	9	2	86	12	△ 10	△ 10
十勝	△ 10	8	80	12	△ 4	6	4	86	10	△ 6	△ 2
釧路・根室	△ 12	4	71	25	△ 21	△ 9	0	80	20	△ 20	1



## 2 雇用状況

### (1) 雇用者総数

#### 今期の雇用者総数BSIは $\Delta 10$ (前期から5ポイント下降)

- ・ 業種別にみると、建設業、卸売・小売業はマイナスに転換、製造業はマイナス幅が縮小、運輸業、サービス業はマイナス幅が拡大
- ・ 地域別にみると、オホーツクはプラスに転換、十勝はマイナス幅が縮小、道南、道央、道北、釧路・根室はマイナス幅が拡大

#### 来期の雇用者総数BSIは $\Delta 3$ (今期から7ポイント上昇)

図2-(1) 雇用者総数

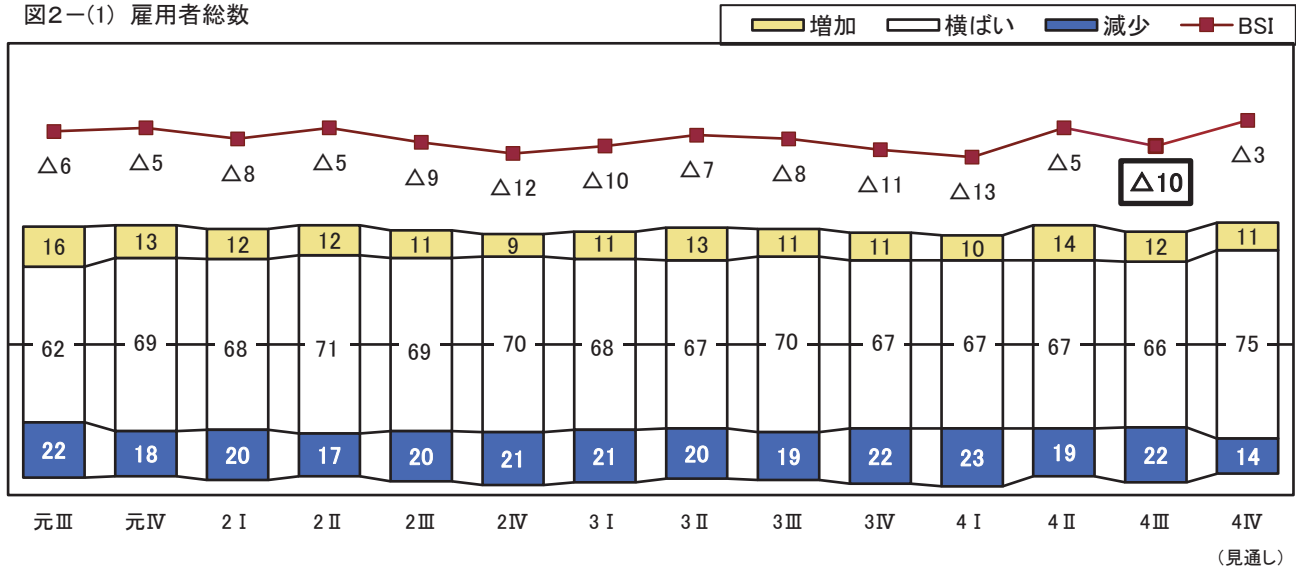


表2-(1) 雇用者総数(業種・資本金・地域別)

区分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計	Δ 5	12	66	22	Δ 10	Δ 5	11	75	14	Δ 3	7
札幌市を除く	Δ 7	12	67	21	Δ 9	Δ 2	11	75	14	Δ 3	6
札幌市	3	12	62	26	Δ 14	Δ 17	11	76	13	Δ 2	12
業種											
建設業	7	15	65	20	Δ 5	Δ 12	17	73	10	7	12
製造業	Δ 17	11	66	23	Δ 12	5	10	77	13	Δ 3	9
卸売・小売業	2	11	71	18	Δ 7	Δ 9	10	74	16	Δ 6	1
運輸業	Δ 13	8	67	25	Δ 17	Δ 4	8	74	18	Δ 10	7
サービス業	Δ 5	13	64	23	Δ 10	Δ 5	10	77	13	Δ 3	7
資本金											
5千万円未満	Δ 8	10	68	22	Δ 12	Δ 4	9	76	15	Δ 6	6
5千万円以上~1億円未満	Δ 2	17	62	21	Δ 4	Δ 2	12	78	10	2	6
1億円以上	2	12	64	24	Δ 12	Δ 14	19	69	12	7	19
地域											
道南	Δ 8	2	80	18	Δ 16	Δ 8	8	84	8	0	16
道央	Δ 3	13	65	22	Δ 9	Δ 6	11	77	12	Δ 1	8
札幌市を除く	Δ 8	13	68	19	Δ 6	2	10	79	11	Δ 1	5
札幌市	3	12	62	26	Δ 14	Δ 17	11	76	13	Δ 2	12
道北	Δ 10	12	63	25	Δ 13	Δ 3	14	74	12	2	15
オホーツク	Δ 3	16	72	12	4	7	10	78	12	Δ 2	Δ 6
十勝	Δ 5	18	60	22	Δ 4	1	12	68	20	Δ 8	Δ 4
釧路・根室	Δ 9	10	59	31	Δ 21	Δ 12	8	68	24	Δ 16	5

(2) 雇用者の不足感

**今期の雇用者の不足感BSIは43（前期から6ポイント上昇）**

- ・ 業種別にみると、すべての業種でプラス幅が拡大
- ・ 地域別にみると、道南はプラス幅が縮小、道央、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室でプラス幅が拡大

**来期の雇用者の不足感BSIは42（今期から1ポイント下降）**

図2-(2) 雇用者の不足感

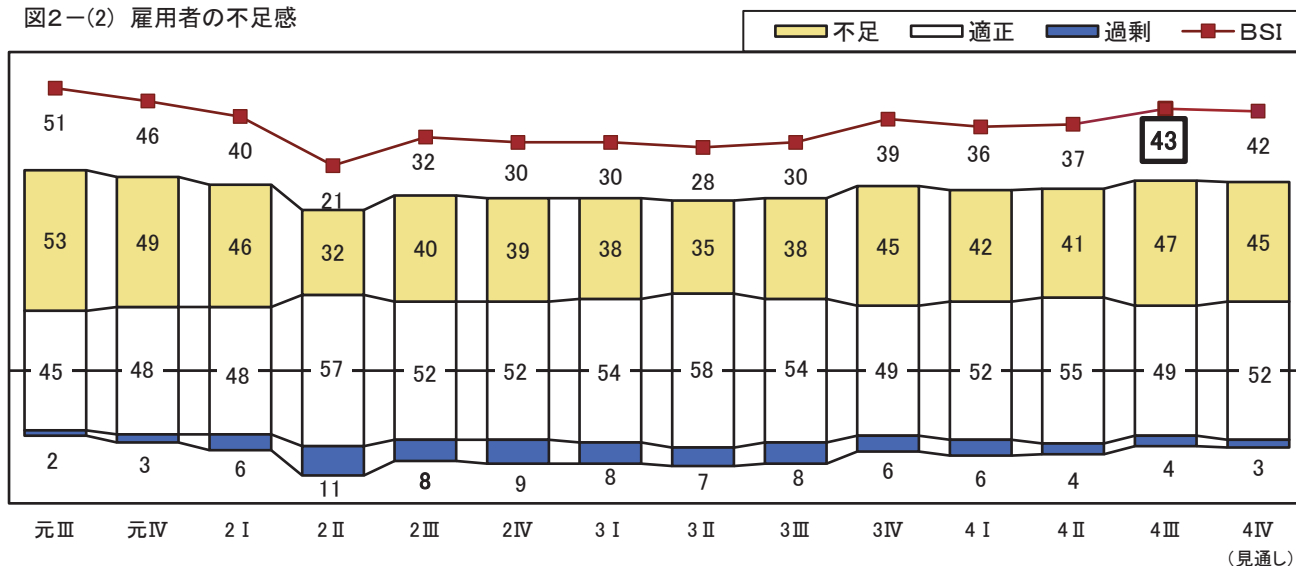


表2-(2) 雇用者の不足感(業種・資本金・地域別)

区分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し				
		不足	適正	過剰	BSI	変化幅	不足	適正	過剰	BSI	変化幅
総計	37	47	49	4	43	6	45	52	3	42	△ 1
札幌市を除く	37	49	47	4	45	8	47	50	3	44	△ 1
札幌市	34	40	54	6	34	0	37	58	5	32	△ 2
業種											
建設業	57	60	38	2	58	1	60	39	1	59	1
製造業	34	45	49	6	39	5	43	52	5	38	△ 1
卸売・小売業	28	37	56	7	30	2	34	58	8	26	△ 4
運輸業	41	50	49	1	49	8	46	53	1	45	△ 4
サービス業	30	44	52	4	40	10	42	56	2	40	0
資本金											
5千万円未満	34	45	50	5	40	6	44	52	4	40	0
5千万円以上～1億円未満	40	54	43	3	51	11	54	44	2	52	1
1億円以上	40	43	56	1	42	2	35	64	1	34	△ 8
地域											
道南	36	38	54	8	30	△ 6	34	61	5	29	△ 1
道央	32	41	54	5	36	4	39	57	4	35	△ 1
札幌市を除く	30	43	52	5	38	8	41	57	2	39	1
札幌市	34	40	54	6	34	0	37	58	5	32	△ 2
道北	42	60	38	2	58	16	58	38	4	54	△ 4
オホーツク	39	49	47	4	45	6	51	45	4	47	2
十勝	45	60	40	0	60	15	54	44	2	52	△ 8
釧路・根室	34	44	56	0	44	10	44	56	0	44	0

(3) 残業時間

**今期の残業時間BSIは△15（前期から6ポイント下降）**

- ・ 業種別にみると、サービス業は横ばい、卸売・小売業はマイナスに転換、建設業、製造業、運輸業はマイナス幅が拡大
- ・ 地域別にみると、道北、オホーツクは横ばい、道南、道央、十勝、釧路・根室でマイナス幅が拡大

**来期の残業時間BSIは△9（今期から6ポイント上昇）**

図2-(3) 残業時間

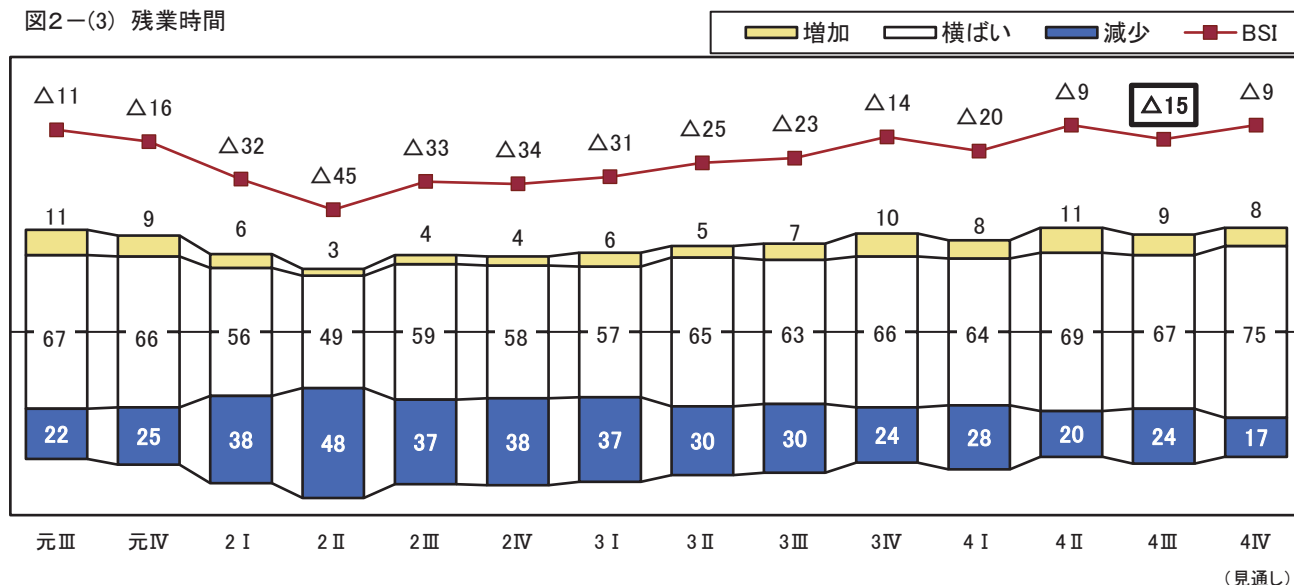


表2-(3) 残業時間(業種・資本金・地域別)

区分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計	△9	9	67	24	△15	△6	8	75	17	△9	6
札幌市を除く	△11	9	67	24	△15	△4	7	75	18	△11	4
札幌市	△5	10	68	22	△12	△7	13	72	15	△2	10
業種											
建設業	△24	3	66	31	△28	△4	4	76	20	△16	12
製造業	△19	8	64	28	△20	△1	8	68	24	△16	4
卸売・小売業	0	8	75	17	△9	△9	8	78	14	△6	3
運輸業	△3	10	67	23	△13	△10	6	80	14	△8	5
サービス業	△6	15	64	21	△6	0	12	73	15	△3	3
資本金											
5千万円未満	△13	7	66	27	△20	△7	8	73	19	△11	9
5千万円以上～1億円未満	△10	14	68	18	△4	6	7	79	14	△7	△3
1億円以上	7	16	66	18	△2	△9	12	72	16	△4	△2
地域											
道南	△9	10	67	23	△13	△4	8	74	18	△10	3
道央	△5	11	67	22	△11	△6	11	74	15	△4	7
札幌市を除く	△6	12	65	23	△11	△5	8	77	15	△7	4
札幌市	△5	10	68	22	△12	△7	13	72	15	△2	10
道北	△14	14	58	28	△14	0	10	74	16	△6	8
オホーツク	△22	0	78	22	△22	0	0	79	21	△21	1
十勝	△2	8	72	20	△12	△10	10	66	24	△14	△2
釧路・根室	△19	4	69	27	△23	△4	0	80	20	△20	3

(4) 1人当たり賃金

**今期の1人当たり賃金BSIは41（前期から6ポイント上昇）**

- ・ 業種別にみると、全ての業種でプラス幅が拡大
- ・ 地域別にみると、道南、道央、オホーツク、十勝、釧路・根室はプラス幅が拡大、道北はプラス幅が縮小

**来期の1人当たり賃金BSIは33（今期から8ポイント下降）**

図2-(4) 1人当たり賃金

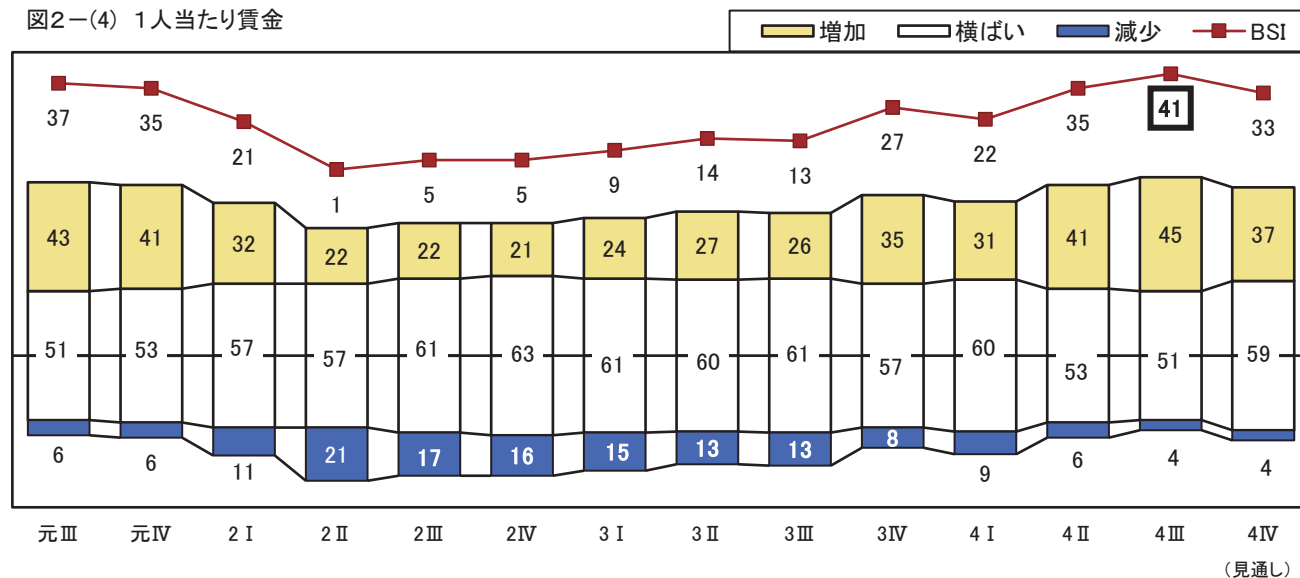


表2-(4) 1人当たり賃金(業種・資本金・地域別)

区分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計	35	45	51	4	41	6	37	59	4	33	△ 8
札幌市を除く	34	43	54	3	40	6	36	60	4	32	△ 8
札幌市	42	49	44	7	42	0	42	53	5	37	△ 5
業種											
建設業	54	63	36	1	62	8	49	50	1	48	△ 14
製造業	40	48	50	2	46	6	42	56	2	40	△ 6
卸売・小売業	38	43	55	2	41	3	40	56	4	36	△ 5
運輸業	18	34	57	9	25	7	26	66	8	18	△ 7
サービス業	31	38	56	6	32	1	31	64	5	26	△ 6
資本金											
5千万円未満	33	40	54	6	34	1	34	61	5	29	△ 5
5千万円以上～1億円未満	39	56	41	3	53	14	47	49	4	43	△ 10
1億円以上	47	50	50	0	50	3	38	62	0	38	△ 12
地域											
道南	22	38	59	3	35	13	31	62	7	24	△ 11
道央	35	43	52	5	38	3	40	56	4	36	△ 2
札幌市を除く	29	37	59	4	33	4	37	61	2	35	2
札幌市	42	49	44	7	42	0	42	53	5	37	△ 5
道北	43	44	51	5	39	△ 4	41	55	4	37	△ 2
オホーツク	36	48	50	2	46	10	31	65	4	27	△ 19
十勝	42	52	46	2	50	8	34	62	4	30	△ 20
釧路・根室	32	49	47	4	45	13	37	59	4	33	△ 12

### 3 在庫、価格水準

#### (1) 製造業

##### 今期の実績

- ・ 製品在庫水準は、前期と比べ、「不足」「過大」が拡大、「適正」が縮小
- ・ 仕入価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」「下降」が縮小
- ・ 製品価格は、前期と比べ、「上昇」「下降」が拡大、「横ばい」が縮小

##### 来期の見通し

- ・ 製品在庫水準は、「適正」が拡大、「不足」「過大」が縮小
- ・ 仕入価格は、「横ばい」が拡大、「上昇」が縮小
- ・ 製品価格は、「横ばい」「下降」が拡大、「上昇」が縮小

図3-(1) 製品在庫水準

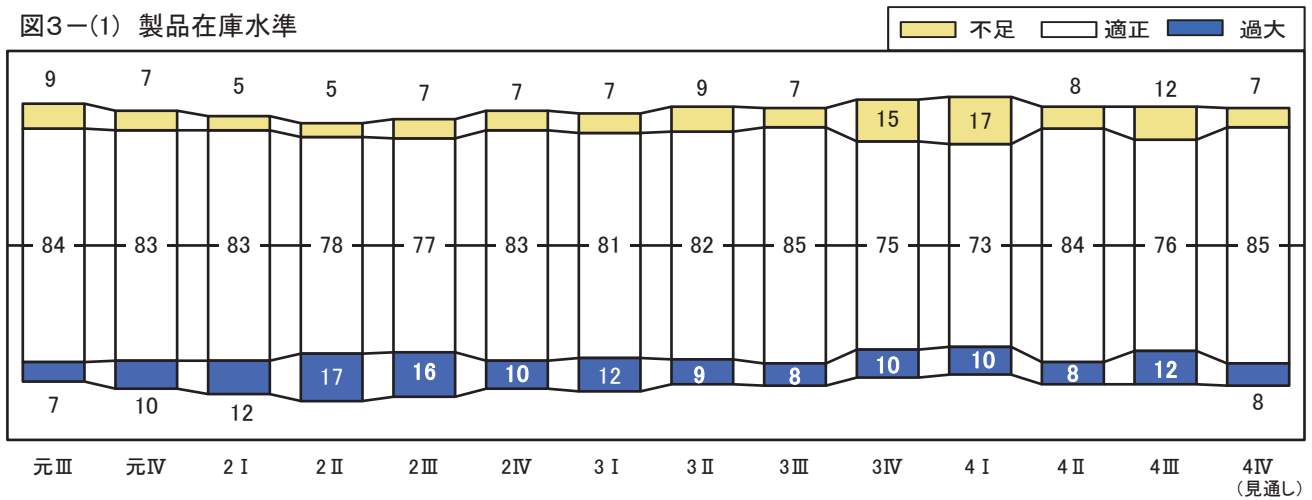


図3-(2) 仕入価格(原材料)

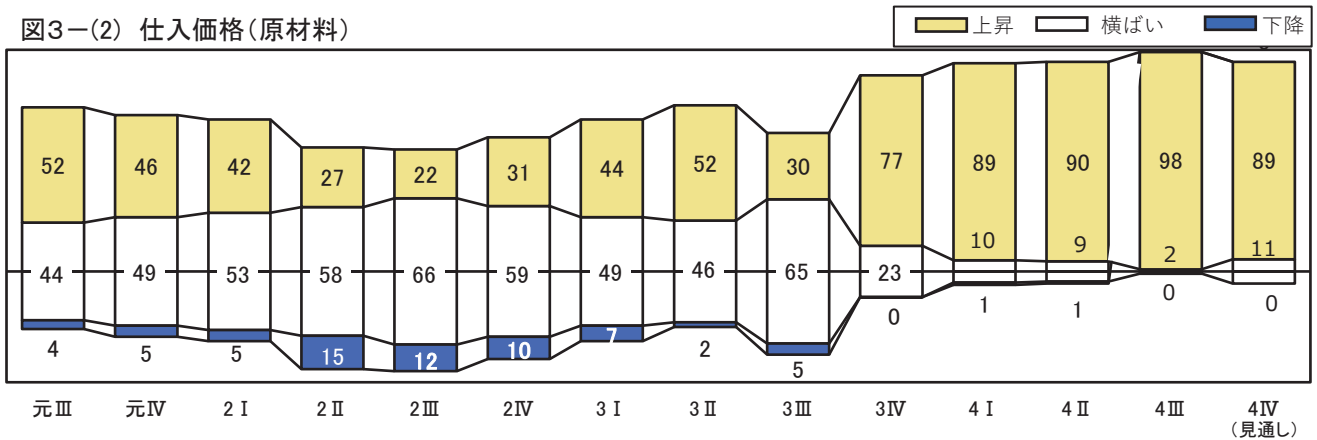
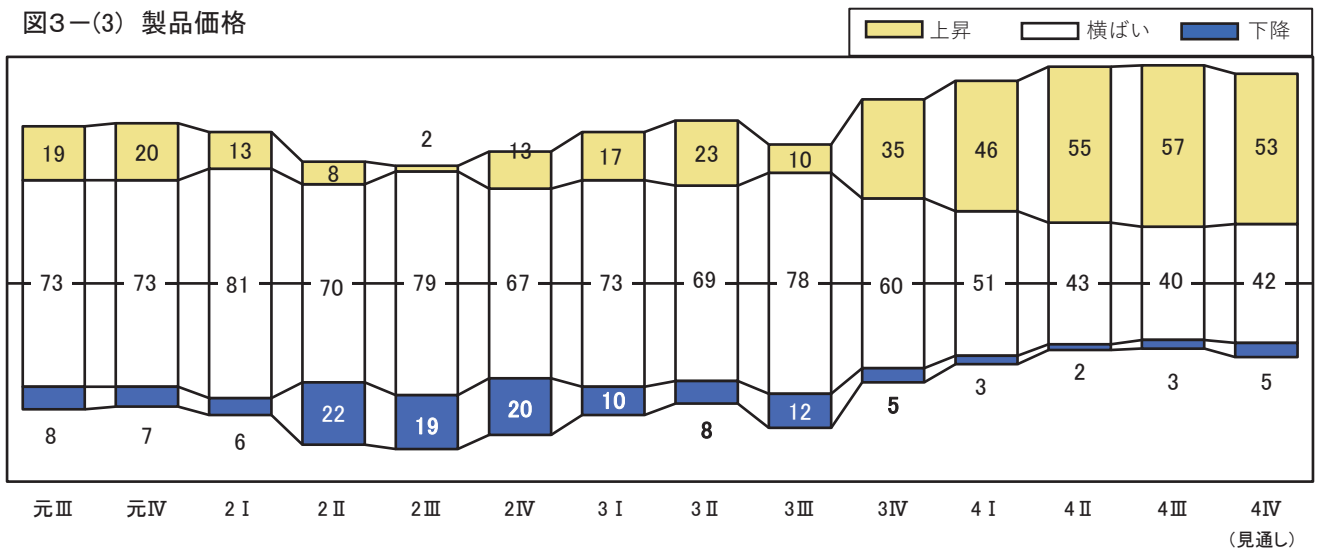


図3-(3) 製品価格



(2) 卸売・小売業

**今期の実績**

- ・商品在庫水準は、前期と比べ、「不足」が拡大、「過大」が横ばい、「適正」が縮小
- ・仕入価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」が縮小
- ・商品価格は、前期と比べ、「上昇」「下降」が拡大、「横ばい」が縮小

**来期の見通し**

- ・商品在庫水準は、「適正」が拡大、「不足」「過大」が縮小
- ・仕入価格は、「横ばい」「下降」が拡大、「上昇」が縮小
- ・商品価格は、「横ばい」「下降」が拡大、「上昇」が縮小

図3-(4) 商品在庫水準

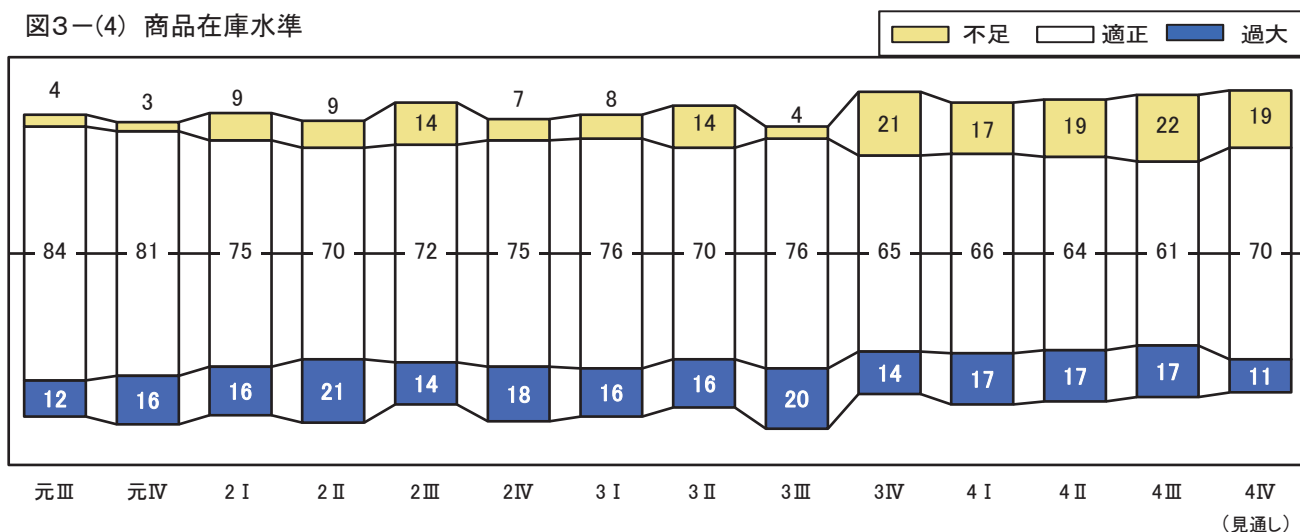


図3-(5) 仕入価格(商品)

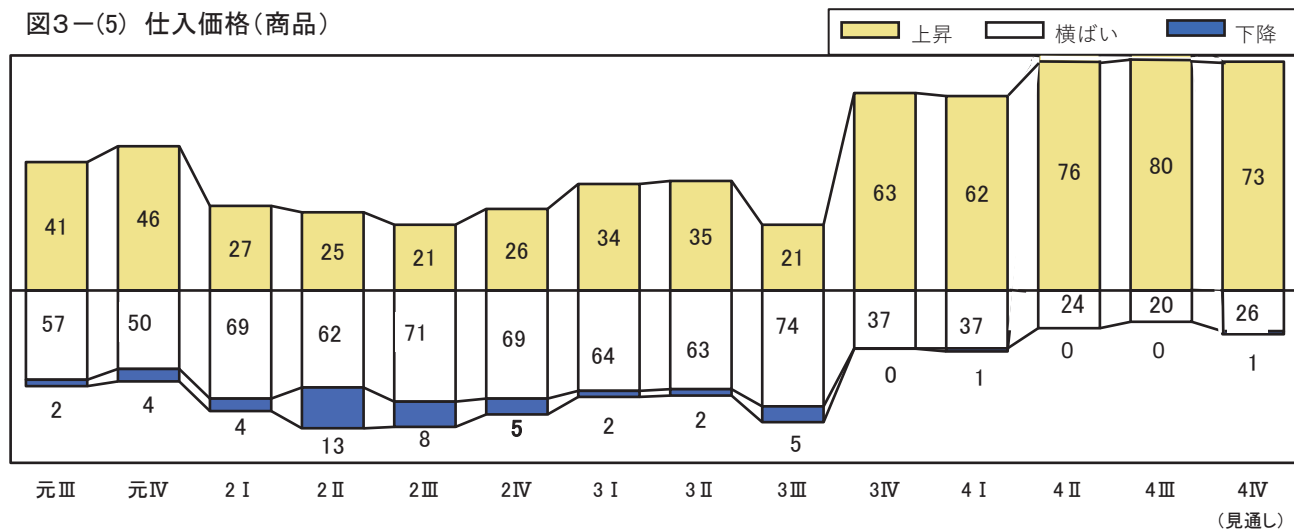
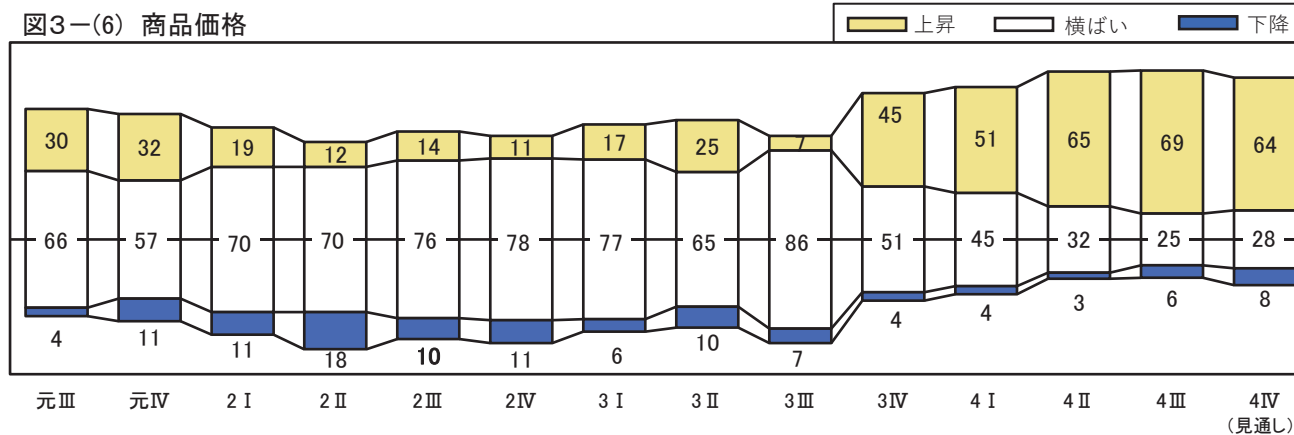


図3-(6) 商品価格



#### 4 設備投資の状況

##### 今期の実績

- ・ 「設備投資をした」と回答した企業は27%で、前期から下降
- ・ 設備投資の目的については、「設備更新」が74%、「合理化・省力化」が25%、「生産・販売能力拡大」が23%（複数回答）

##### 来期の見通し

- ・ 「設備投資をする」と回答した企業は27%で、今期から横ばい
- ・ 設備投資の目的については、「設備更新」が85%、「生産・販売能力拡大」が29%、「合理化・省力化」が19%（複数回答）

図4-1) 設備投資の状況

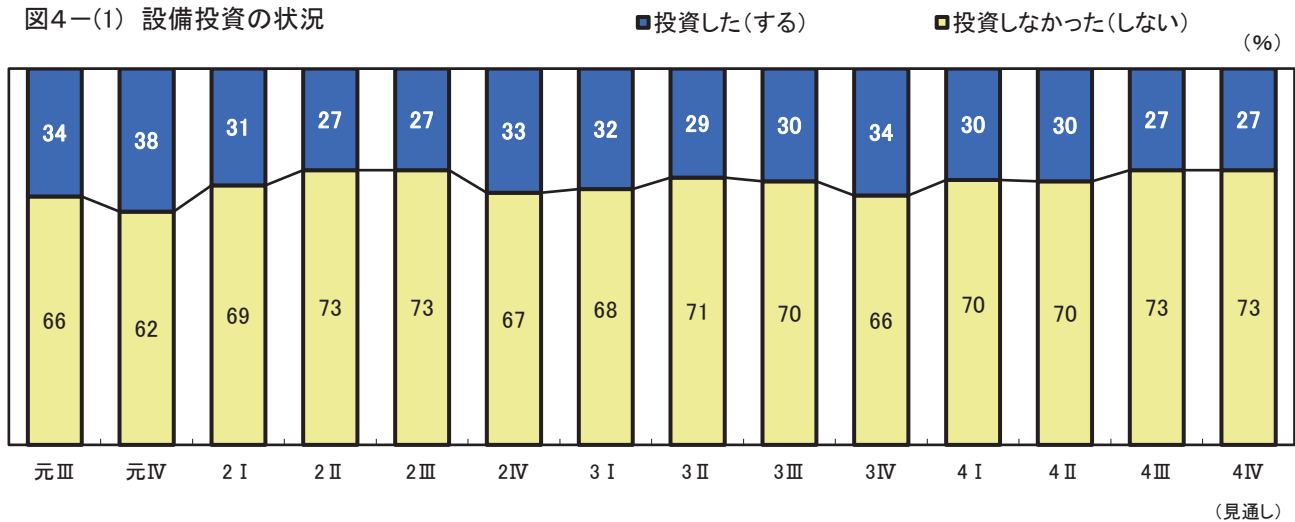


図4-2) 設備投資の目的(複数回答)

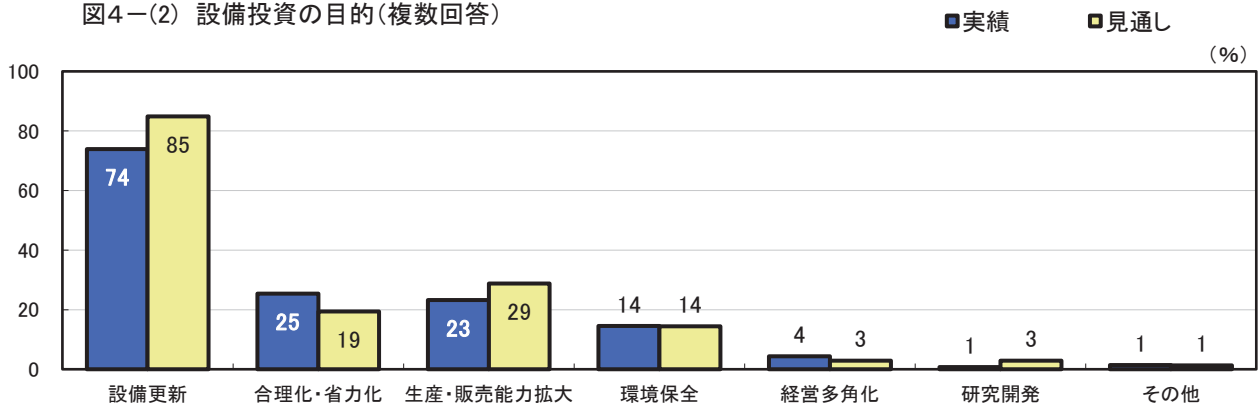


表4-(1) 設備投資の状況(R4年7-9月実績)(業種・資本金・地域別)

(%)

区分	R4年4-6月 設備投資した	R4年7-9月 設備投資した	設備投資の目的(複数回答)						
			設備 更新	合理化 省力化	生産・ 販売能力 拡大	環境 保全	経営 多角化	研究 開発	その他
総計	30	27	74	25	23	14	4	1	1
札幌市を除く	27	25	74	24	21	18	3	1	2
札幌市	36	31	74	29	29	3	9	0	0
業種									
建設業	30	29	70	37	19	19	0	0	0
製造業	33	34	78	25	28	22	3	3	3
卸売・小売業	24	23	86	19	24	29	10	0	0
運輸業	32	31	75	8	8	4	0	0	4
サービス業	30	23	65	32	32	3	9	0	0
資本金									
5千万円未満	26	21	66	27	29	11	9	0	3
5千万円以上~1億円未満	28	27	82	29	18	18	0	0	0
1億円以上	47	55	83	20	18	18	0	3	0
地域									
道南	23	18	91	18	18	36	0	0	9
道央	31	29	72	23	25	14	5	2	2
札幌市を除く	25	27	69	17	21	28	0	3	3
札幌市	36	31	74	29	29	3	9	0	0
道北	28	28	86	32	14	9	5	0	0
オホーツク	26	29	57	29	43	0	7	0	0
十勝	39	33	69	25	25	13	0	0	0
釧路・根室	28	23	73	27	9	27	9	0	0

表4-(1) 設備投資の状況(R4年10-12月見通し)(業種・資本金・地域別)

(%)

区分	R4年10-12月 設備投資する	設備投資の目的(複数回答)						
		設備 更新	生産・ 販売能力 拡大	合理化 省力化	環境 保全	経営 多角化	研究 開発	その他
総計	27	85	29	19	14	3	3	1
札幌市を除く	25	88	27	15	19	2	3	0
札幌市	35	78	33	30	3	5	3	3
業種								
建設業	20	100	26	16	16	0	0	0
製造業	30	82	29	25	32	4	7	0
卸売・小売業	31	86	46	21	14	7	0	4
運輸業	35	81	7	4	4	0	0	0
サービス業	25	81	32	27	8	3	5	0
資本金								
5千万円未満	21	81	31	19	12	4	3	1
5千万円以上~1億円未満	27	93	32	21	14	4	4	0
1億円以上	59	86	23	19	19	0	2	0
地域								
道南	23	93	29	7	36	0	0	0
道央	29	83	30	27	10	5	5	2
札幌市を除く	21	91	26	22	22	4	9	0
札幌市	35	78	33	30	3	5	3	3
道北	27	81	33	14	14	0	0	0
オホーツク	27	85	31	15	0	0	0	0
十勝	31	93	27	20	27	7	7	0
釧路・根室	28	85	15	8	15	0	0	0



## 5 地域別にみる各産業の動向

### (1) 道南

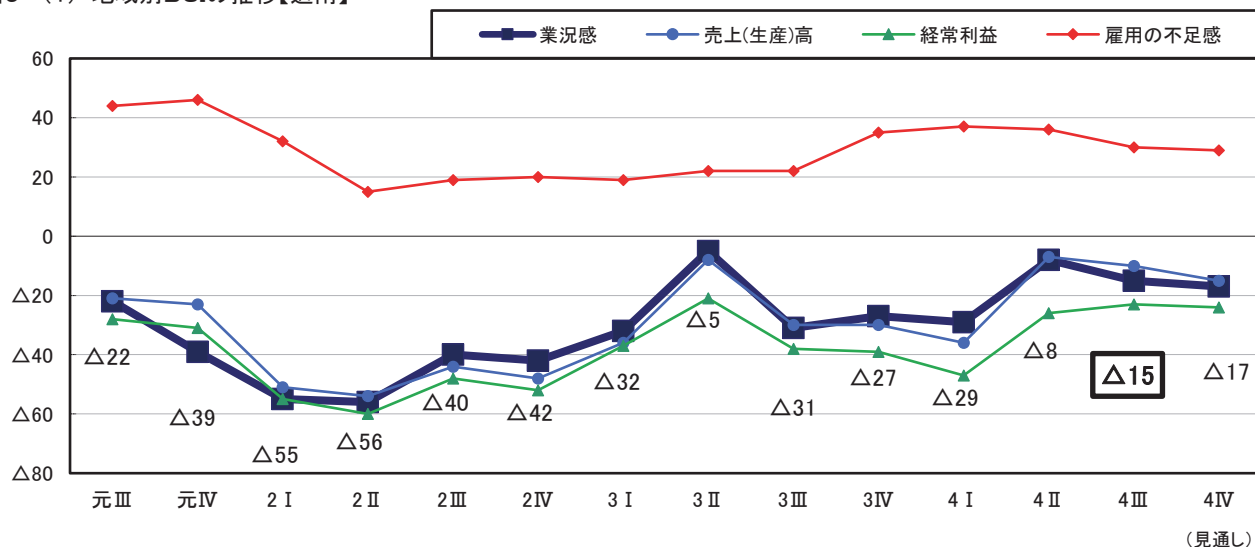
#### 今期の業況感BSIは $\Delta 15$ (前期から7ポイント下降)

主な上昇業種・・・ 総合工事業 ( $\Delta 18 \rightarrow \Delta 9$ )、  
道路旅客運送業 ( $\Delta 100 \rightarrow 0$ )

主な下降業種・・・ 木材・木製品製造業 ( $50 \rightarrow 0$ )、機械器具小売業 ( $\Delta 50 \rightarrow \Delta 75$ )、  
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 ( $0 \rightarrow \Delta 67$ )、  
宿泊業 ( $50 \rightarrow 0$ )、自動車整備業 ( $\Delta 25 \rightarrow \Delta 33$ )

#### 来期の業況感BSIは $\Delta 17$ (今期から2ポイント下降)

図5-(1) 地域別BSIの推移【道南】



(見通し)

表5-(1) 地域別BSI【道南】

区分	R4年 4-6月 実績BSI	R4年7-9月実績						R4年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	$\Delta 8$	15	55	30	$\Delta 15$	$\Delta 7$	11	61	28	$\Delta 17$	$\Delta 2$
	建設業	$\Delta 18$	18	55	27	$\Delta 9$	9	0	55	45	$\Delta 45$	$\Delta 36$
	製造業	$\Delta 6$	17	58	25	$\Delta 8$	$\Delta 2$	8	42	50	$\Delta 42$	$\Delta 34$
	卸売・小売業	$\Delta 15$	7	43	50	$\Delta 43$	$\Delta 28$	21	58	21	0	43
	運輸業	$\Delta 13$	13	62	25	$\Delta 12$	1	13	74	13	0	12
	サービス業	5	19	62	19	0	$\Delta 5$	13	74	13	0	0
売上 (生産) 高	全産業	$\Delta 7$	16	58	26	$\Delta 10$	$\Delta 3$	11	63	26	$\Delta 15$	$\Delta 5$
	建設業	$\Delta 27$	18	73	9	9	36	0	55	45	$\Delta 45$	$\Delta 54$
	製造業	0	17	58	25	$\Delta 8$	$\Delta 8$	8	50	42	$\Delta 34$	$\Delta 26$
	卸売・小売業	$\Delta 15$	14	36	50	$\Delta 36$	$\Delta 21$	21	50	29	$\Delta 8$	28
	運輸業	$\Delta 13$	13	74	13	0	13	13	74	13	0	0
	サービス業	5	19	56	25	$\Delta 6$	$\Delta 11$	13	81	6	7	13
経常利益	全産業	$\Delta 26$	13	51	36	$\Delta 23$	3	7	62	31	$\Delta 24$	$\Delta 1$
	建設業	$\Delta 45$	9	73	18	$\Delta 9$	36	0	73	27	$\Delta 27$	$\Delta 18$
	製造業	$\Delta 46$	17	25	58	$\Delta 41$	5	0	33	67	$\Delta 67$	$\Delta 26$
	卸売・小売業	$\Delta 15$	14	36	50	$\Delta 36$	$\Delta 21$	14	50	36	$\Delta 22$	14
	運輸業	$\Delta 13$	13	62	25	$\Delta 12$	1	0	87	13	$\Delta 13$	$\Delta 1$
	サービス業	$\Delta 14$	13	62	25	$\Delta 12$	2	13	74	13	0	12
雇用の 不足感	全産業	36	38	54	8	30	$\Delta 6$	34	61	5	29	$\Delta 1$
	建設業	60	45	55	0	45	$\Delta 15$	45	55	0	45	0
	製造業	33	50	33	17	33	0	42	41	17	25	$\Delta 8$
	卸売・小売業	25	36	57	7	29	4	29	64	7	22	$\Delta 7$
	運輸業	37	38	62	0	38	1	38	62	0	38	0
	サービス業	33	25	62	13	12	$\Delta 21$	25	75	0	25	13

(2) 道央

**今期の業況感BSIは 1 (前期から5ポイント上昇)**

主な上昇業種・・・ 金属製品製造業 (0→33)、飲食料品卸売業 (50→75)、  
 機械器具小売業 (△33→△16)、技術サービス業 (△10→△9)、  
 宿泊業 (62→75)、洗濯・理容・美容・浴場業 (△45→0)

主な下降業種・・・ 道路旅客運送業 (62→57)、  
 倉庫業 (11→△11)

**来期の業況感BSIは △2 (今期から3ポイント下降)**

図5-(2) 地域別BSIの推移【道央】

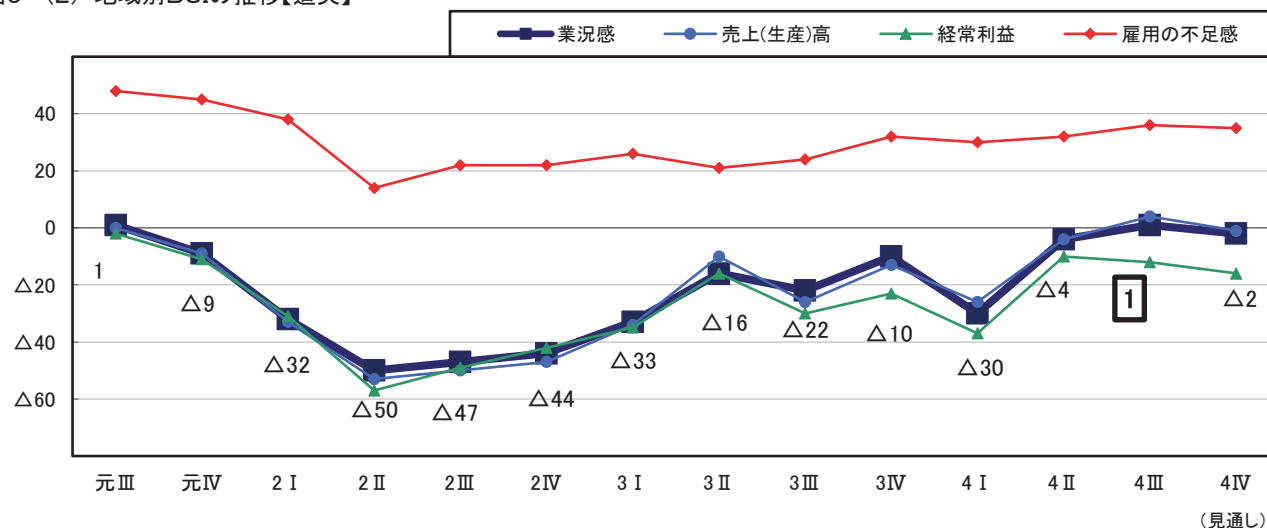


表5-(2) 地域別BSI【道央】

区分	R4年 4-6月 実績BSI	R4年7-9月実績						R4年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△ 4	20	61	19	1	5	14	70	16	△ 2	△ 3
	建設業	△ 12	3	82	15	△ 12	0	3	85	12	△ 9	3
	製造業	△ 25	13	55	32	△ 19	6	8	70	22	△ 14	5
	卸売・小売業	2	29	54	17	12	10	15	68	17	△ 2	△ 14
	運輸業	7	19	66	15	4	△ 3	19	70	11	8	4
	サービス業	0	25	59	16	9	9	19	66	15	4	△ 5
売上 (生産) 高	全産業	△ 4	25	54	21	4	8	17	65	18	△ 1	△ 5
	建設業	△ 12	3	76	21	△ 18	△ 6	6	76	18	△ 12	6
	製造業	△ 15	16	52	32	△ 16	△ 1	11	65	24	△ 13	3
	卸売・小売業	2	40	43	17	23	21	19	60	21	△ 2	△ 25
	運輸業	0	19	62	19	0	0	22	63	15	7	7
	サービス業	△ 1	31	49	20	11	12	20	66	14	6	△ 5
経常利益	全産業	△ 10	21	46	33	△ 12	△ 2	13	58	29	△ 16	△ 4
	建設業	△ 15	6	64	30	△ 24	△ 9	3	67	30	△ 27	△ 3
	製造業	△ 27	16	37	47	△ 31	△ 4	11	39	50	△ 39	△ 8
	卸売・小売業	△ 2	26	43	31	△ 5	△ 3	14	57	29	△ 15	△ 10
	運輸業	△ 16	15	48	37	△ 22	△ 6	19	59	22	△ 3	19
	サービス業	△ 3	27	46	27	0	3	17	63	20	△ 3	△ 3
雇用の 不足感	全産業	32	41	54	5	36	4	39	57	4	35	△ 1
	建設業	55	61	36	3	58	3	61	39	0	61	3
	製造業	27	30	62	8	22	△ 5	27	68	5	22	0
	卸売・小売業	28	31	59	10	21	△ 7	29	61	10	19	△ 2
	運輸業	29	41	59	0	41	12	33	67	0	33	△ 8
	サービス業	29	45	50	5	40	11	43	55	2	41	1

(2) - ① 道央（札幌市を除く）

今期の業況感BSIは△3（前期から9ポイント上昇）

主な上昇業種・・・ 食料品製造業（△40→△25）、金属製品製造業（0→33）、  
 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（△44→△33）、  
 宿泊業（58→67）、自動車整備業（△57→△17）

主な下降業種・・・ 道路旅客運送業（40→25）

来期の業況感BSIは△4（今期から1ポイント下降）

図5-(2)-① 地域別BSIの推移【道央(札幌市を除く)】

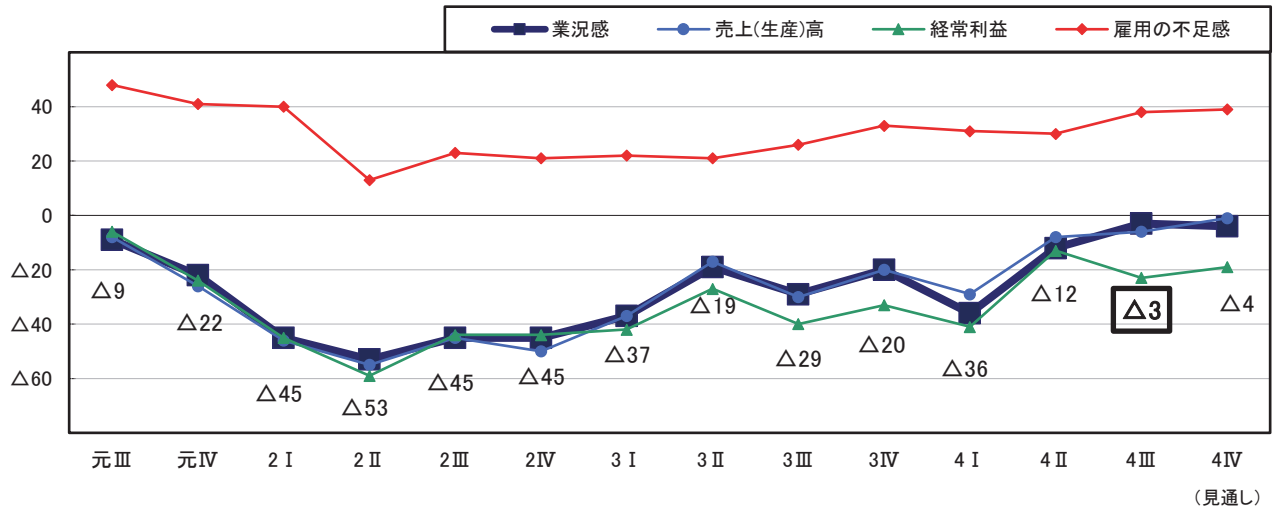


表5-(2)-① 地域別BSI【道央(札幌市を除く)】

区分	R4年 4-6月 実績BSI	R4年7-9月実績						R4年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△12	18	61	21	△3	9	13	70	17	△4	△1
	建設業	△29	0	87	13	△13	16	7	80	13	△6	7
	製造業	△26	17	54	29	△12	14	8	71	21	△13	△1
	卸売・小売業	△16	35	41	24	11	27	24	58	18	6	△5
	運輸業	0	7	86	7	0	0	6	88	6	0	0
	サービス業	△3	24	52	24	0	3	18	61	21	△3	△3
売上 (生産)高	全産業	△8	20	54	26	△6	2	16	67	17	△1	5
	建設業	△29	0	73	27	△27	2	13	67	20	△7	20
	製造業	0	21	46	33	△12	△12	8	71	21	△13	△1
	卸売・小売業	△5	47	29	24	23	28	29	47	24	5	△18
	運輸業	△15	6	75	19	△13	2	13	81	6	7	20
	サービス業	△3	22	54	24	△2	1	17	69	14	3	5
経常利益	全産業	△13	16	45	39	△23	△10	12	57	31	△19	4
	建設業	△29	0	73	27	△27	2	7	73	20	△13	14
	製造業	△18	17	29	54	△37	△19	8	34	58	△50	△13
	卸売・小売業	△16	29	42	29	0	16	24	47	29	△5	△5
	運輸業	△32	0	62	38	△38	△6	6	81	13	△7	31
	サービス業	3	22	37	41	△19	△22	14	61	25	△11	8
雇用の 不足感	全産業	30	43	52	5	38	8	41	57	2	39	1
	建設業	50	60	40	0	60	10	60	40	0	60	0
	製造業	17	26	70	4	22	5	22	74	4	18	△4
	卸売・小売業	21	41	53	6	35	14	35	59	6	29	△6
	運輸業	26	31	69	0	31	5	25	75	0	25	△6
	サービス業	37	53	39	8	45	8	54	46	0	54	9

(2) - ② 道央(札幌市)

今期の業況感BSIは4(前期から2ポイント上昇)

主な上昇業種・・・生産用機械器具製造業(△67→△33)  
 機械器具小売業(△25→0)、技術サービス業(△13→0)、  
 洗濯・理容・美容・浴場業(△25→67)、機械等修理業(△50→△33)

主な下降業種・・・倉庫業(25→△20)

来期の業況感BSIは0(今期から4ポイント下降)

図5-(2)-② 地域別BSIの推移【道央(札幌市)】

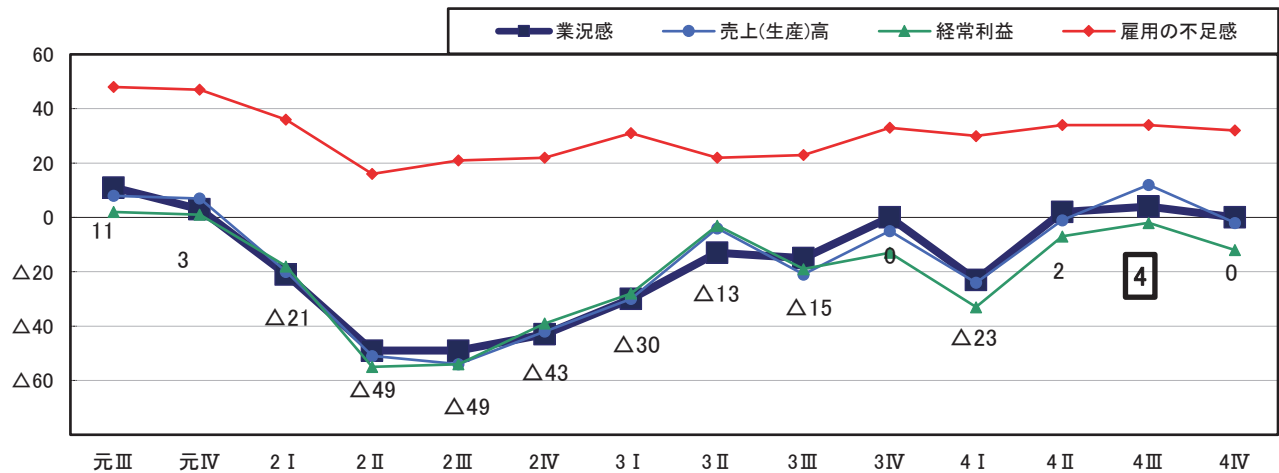


表5-(2)-② 地域別BSI【道央(札幌市)】

区分	R4年 4-6月 実績BSI	R4年7-9月実績						R4年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	2	21	62	17	4	2	14	72	14	0	△4
	建設業	0	6	77	17	△11	△11	0	89	11	△11	0
	製造業	△23	7	57	36	△29	△6	8	69	23	△15	14
	卸売・小売業	15	25	62	13	12	△3	8	75	17	△9	△21
	運輸業	17	36	37	27	9	△8	36	46	18	18	9
	サービス業	2	26	63	11	15	13	19	70	11	8	△7
売上 (生産)高	全産業	△1	29	54	17	12	13	17	64	19	△2	△14
	建設業	0	6	77	17	△11	△11	0	83	17	△17	△6
	製造業	△35	7	64	29	△22	13	14	57	29	△15	7
	卸売・小売業	7	36	52	12	24	17	12	68	20	△8	△32
	運輸業	25	36	46	18	18	△7	36	37	27	9	△9
	サービス業	0	38	45	17	21	21	23	62	15	8	△13
経常利益	全産業	△7	25	48	27	△2	5	15	58	27	△12	△10
	建設業	△6	11	56	33	△22	△16	0	61	39	△39	△17
	製造業	△41	14	50	36	△22	19	14	50	36	△22	0
	卸売・小売業	8	24	44	32	△8	△16	8	64	28	△20	△12
	運輸業	8	36	28	36	0	△8	36	28	36	0	0
	サービス業	△7	32	51	17	15	22	19	64	17	2	△13
雇用の 不足感	全産業	34	40	54	6	34	0	37	58	5	32	△2
	建設業	58	61	33	6	55	△3	61	39	0	61	6
	製造業	41	36	50	14	22	△19	36	57	7	29	7
	卸売・小売業	34	24	64	12	12	△22	24	64	12	12	0
	運輸業	34	55	45	0	55	21	45	55	0	45	△10
	サービス業	22	38	60	2	36	14	34	62	4	30	△6

(3) 道北

今期の業況感BSIは△7(前期から1ポイント下降)

主な上昇業種・・・ 道路貨物運送業(△80→△33)

主な下降業種・・・ 総合工事業(0→△20)、食料品製造業(△33→△40)  
木材・木製品製造業(33→△33)

来期の業況感BSIは△22(今期から15ポイント下降)

図5-(3) 地域別BSIの推移【道北】

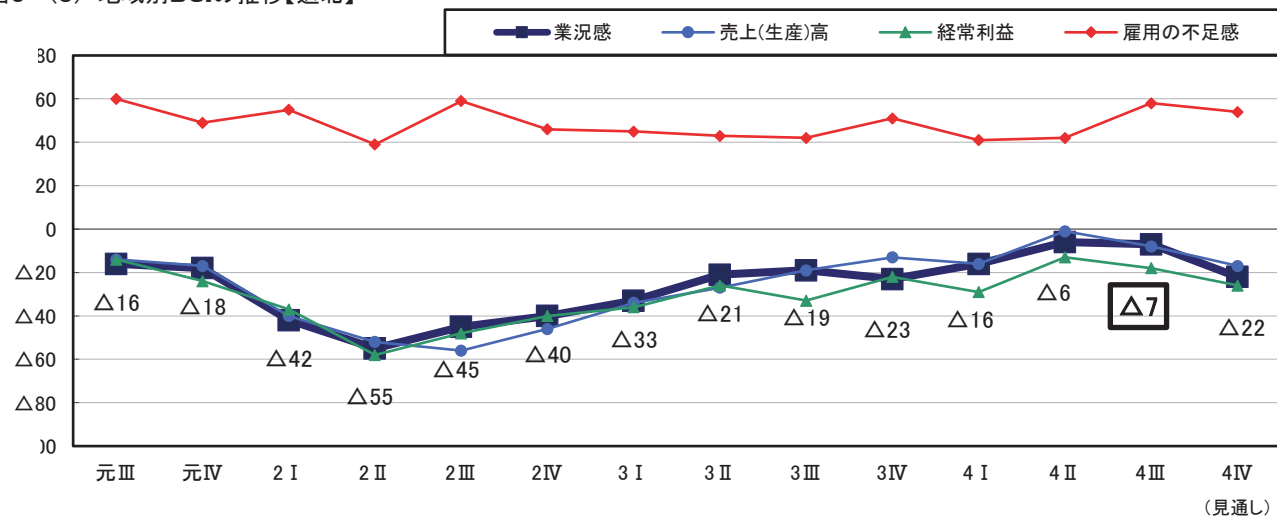


表5-(2)-② 地域別BSI【道北】

区分	R4年 4-6月 実績BSI	R4年7-9月実績						R4年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△6	20	53	27	△7	△1	8	62	30	△22	△15
	建設業	0	6	75	19	△13	△13	6	56	38	△32	△19
	製造業	△27	6	53	41	△35	△8	0	59	41	△41	△6
	卸売・小売業	0	33	34	33	0	0	8	50	42	△34	△34
	運輸業	△9	25	58	17	8	17	8	84	8	0	△8
	サービス業	4	29	46	25	4	0	13	65	22	△9	△13
売上 (生産)高	全産業	△1	23	46	31	△8	△7	14	55	31	△17	△9
	建設業	△6	19	50	31	△12	△6	13	49	38	△25	△13
	製造業	△22	6	53	41	△35	△13	12	53	35	△23	12
	卸売・小売業	27	33	34	33	0	△27	8	50	42	△34	△34
	運輸業	0	33	50	17	16	16	17	75	8	9	△7
	サービス業	0	29	42	29	0	0	17	54	29	△12	△12
経常利益	全産業	△13	20	42	38	△18	△5	9	56	35	△26	△8
	建設業	△11	0	37	63	△63	△52	0	44	56	△56	7
	製造業	△33	12	53	35	△23	10	6	53	41	△35	△12
	卸売・小売業	0	33	34	33	0	0	8	59	33	△25	△25
	運輸業	△27	25	42	33	△8	19	8	84	8	0	8
	サービス業	0	29	42	29	0	0	17	54	29	△12	△12
雇用の 不足感	全産業	42	60	38	2	58	16	58	38	4	54	△4
	建設業	71	88	12	0	88	17	88	12	0	88	0
	製造業	28	53	41	6	47	19	53	41	6	47	0
	卸売・小売業	40	42	50	8	34	△6	33	50	17	16	△18
	運輸業	46	58	42	0	58	12	58	42	0	58	0
	サービス業	34	58	42	0	58	24	54	46	0	54	△4

(4) オホーツク

今期の業況感BSIは△12(前期から7ポイント上昇)

主な上昇業種・・・ 飲食料品卸売業(33→100)、  
道路貨物運送業(△75→△33)、  
宿泊業(0→67)

主な下降業種・・・ 総合工事業(△38→△40)

来期の業況感BSIは△20(今期から8ポイント下降)

図5-(4) 地域別BSIの推移【オホーツク】

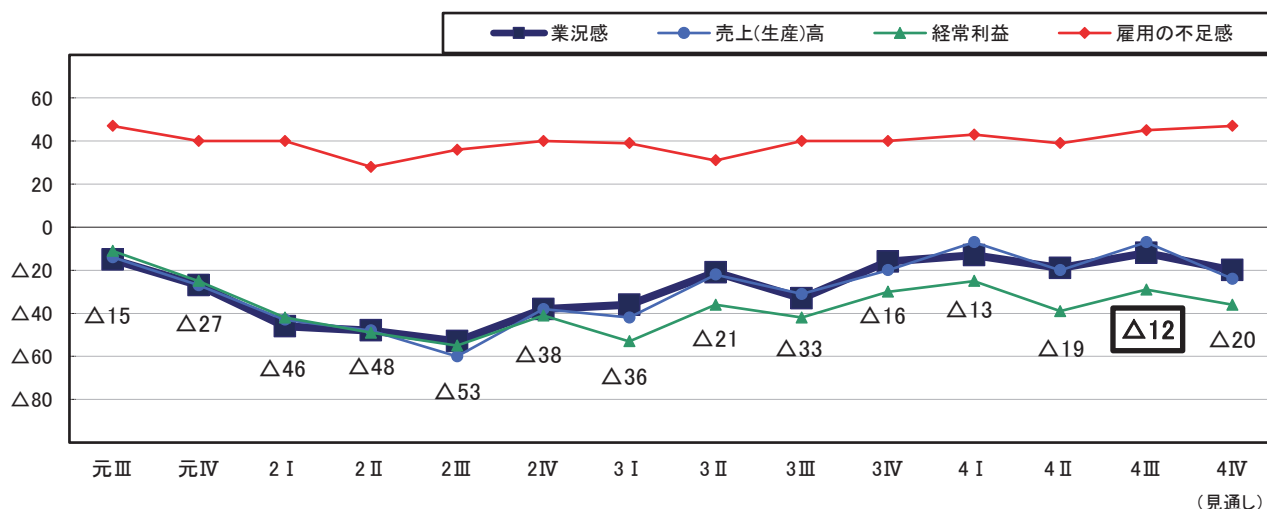


表5-(4) 地域別BSI(オホーツク)

区分	R4年 4-6月 実績BSI	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し					
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△19	18	52	30	△12	7	6	68	26	△20	△8
	建設業	△38	0	55	45	△45	△7	0	73	27	△27	18
	製造業	0	22	56	22	0	0	11	67	22	△11	△11
	卸売・小売業	△20	29	28	43	△14	6	0	43	57	△57	△43
	運輸業	△34	9	64	27	△18	16	9	82	9	0	18
	サービス業	0	33	50	17	16	16	8	67	25	△17	△33
売上(生産)高	全産業	△20	20	53	27	△7	13	8	60	32	△24	△17
	建設業	△63	0	45	55	△55	8	0	55	45	△45	10
	製造業	△12	25	62	13	12	24	11	67	22	△11	△23
	卸売・小売業	20	43	28	29	14	△6	14	29	57	△43	△57
	運輸業	△45	9	73	18	△9	36	9	73	18	△9	0
	サービス業	△11	33	50	17	16	27	8	67	25	△17	△33
経常利益	全産業	△39	14	43	43	△29	10	8	48	44	△36	△7
	建設業	△75	0	27	73	△73	2	9	36	55	△46	27
	製造業	△25	22	56	22	0	25	11	67	22	△11	△11
	卸売・小売業	△40	43	0	57	△14	26	0	14	86	△86	△72
	運輸業	△45	0	55	45	△45	0	9	55	36	△27	18
	サービス業	△11	18	64	18	0	11	8	59	33	△25	△25
雇用の不足感	全産業	39	49	47	4	45	6	51	45	4	47	2
	建設業	63	73	18	9	64	1	73	18	9	64	0
	製造業	38	67	33	0	67	29	67	33	0	67	0
	卸売・小売業	20	29	71	0	29	9	29	71	0	29	0
	運輸業	44	36	55	9	27	△17	36	55	9	27	0
	サービス業	33	36	64	0	36	3	45	55	0	45	9

(5) 十勝

今期の業況感BSIは△24（前期から16ポイント下降）

主な上昇業種・・・ 総合工事業（△22→△11）、  
 宿泊業（0→100）

主な下降業種・・・ 生産用機械器具製造業（0→△67）、  
 飲食料品卸売業（0→△67）、道路旅客運送業（50→△50）、  
 道路貨物運送業（0→△43）

来期の業況感BSIは△25（今期から1ポイント下降）

図5-(5) 地域別BSIの推移【十勝】

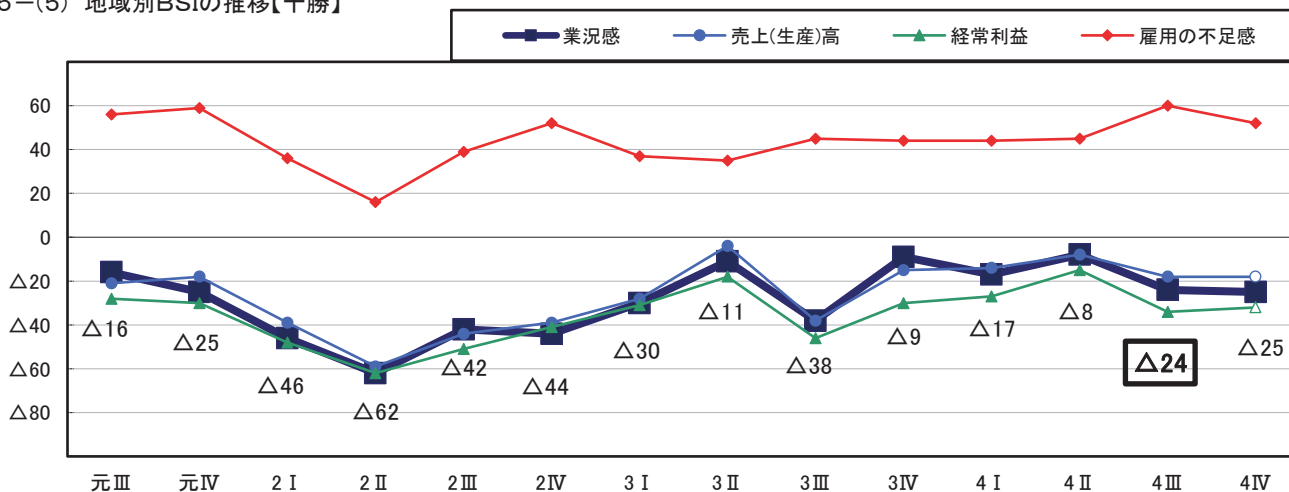


表5-(5) 地域別BSI(十勝)

区分	R4年 4-6月 実績BSI	R4年7-9月実績						R4年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△ 8	10	56	34	△ 24	△ 16	8	59	33	△ 25	△ 1
	建設業	△ 20	0	82	18	△ 18	2	0	73	27	△ 27	△ 9
	製造業	0	0	25	75	△ 75	△ 75	13	37	50	△ 37	38
	卸売・小売業	△ 8	13	49	38	△ 25	△ 17	13	74	13	0	25
	運輸業	9	0	50	50	△ 50	△ 59	0	50	50	△ 50	0
	サービス業	△ 20	31	61	8	23	43	17	58	25	△ 8	△ 31
売上 (生産)高	全産業	△ 8	16	50	34	△ 18	△ 10	12	58	30	△ 18	0
	建設業	△ 30	0	64	36	△ 36	△ 6	0	73	27	△ 27	9
	製造業	△ 11	0	62	38	△ 38	△ 27	13	37	50	△ 37	1
	卸売・小売業	△ 8	13	49	38	△ 25	△ 17	13	74	13	0	25
	運輸業	17	30	10	60	△ 30	△ 47	20	40	40	△ 20	10
	サービス業	△ 13	31	61	8	23	36	15	62	23	△ 8	△ 31
経常利益	全産業	△ 15	14	38	48	△ 34	△ 19	10	48	42	△ 32	2
	建設業	△ 30	0	55	45	△ 45	△ 15	0	45	55	△ 55	△ 10
	製造業	△ 22	0	25	75	△ 75	△ 53	13	24	63	△ 50	25
	卸売・小売業	△ 8	13	24	63	△ 50	△ 42	0	75	25	△ 25	25
	運輸業	0	10	30	60	△ 50	△ 50	10	40	50	△ 40	10
	サービス業	△ 20	38	47	15	23	43	23	54	23	0	△ 23
雇用者の 不足感	全産業	45	60	40	0	60	15	54	44	2	52	△ 8
	建設業	50	36	64	0	36	△ 14	36	64	0	36	0
	製造業	56	63	37	0	63	7	63	37	0	63	0
	卸売・小売業	23	75	25	0	75	52	75	25	0	75	0
	運輸業	58	90	10	0	90	32	80	20	0	80	△ 10
	サービス業	47	46	54	0	46	△ 1	31	61	8	23	△ 23

(6) 釧路・根室

今期の業況感BSIは△32(前期から10ポイント下降)

主な上昇業種・・・ 飲食料品小売業(0→67)、  
道路旅客運送業(0→75)、  
道路貨物運送業(△40→△33)、

主な下降業種・・・ 総合工事業(0→△40)、  
パルプ・紙・紙加工品製造業(0→△100)、  
宿泊業(0→△50)

来期の業況感BSIは△34(今期から2ポイント下降)

図5-(6) 地域別BSIの推移【釧路・根室】

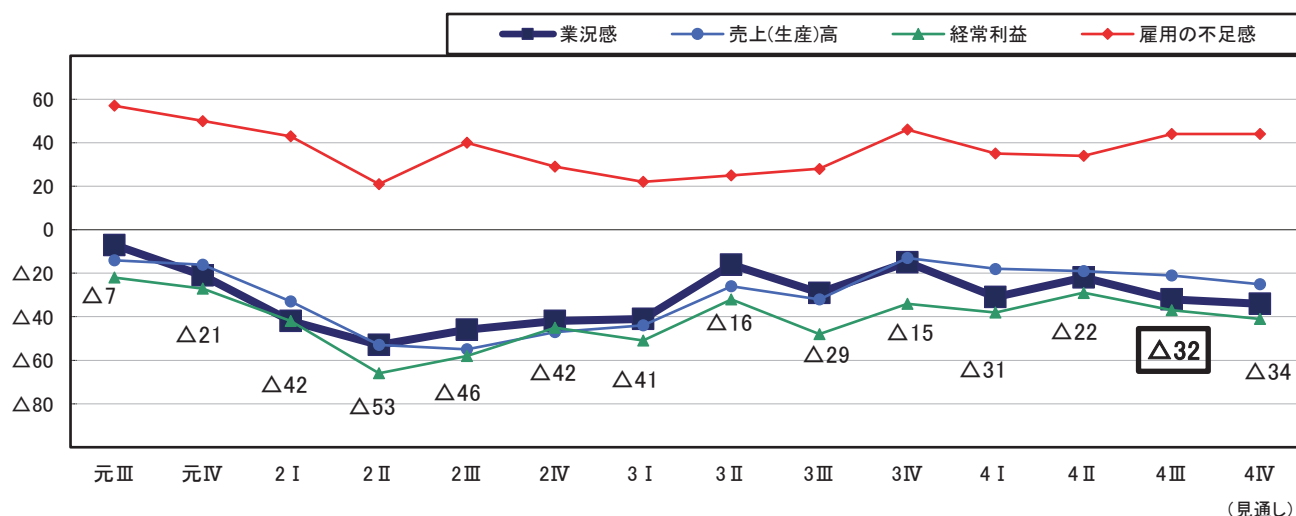


表5-(6) 地域別BSI(釧路・根室)

区分	R4年 4-6月 実績BSI	R4年7-9月実績						R4年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△ 22	10	48	42	△ 32	△ 10	2	62	36	△ 34	△ 2
	建設業	0	0	64	36	△ 36	△ 36	0	64	36	△ 36	0
	製造業	△ 40	0	40	60	△ 60	△ 20	0	40	60	△ 60	0
	卸売・小売業	△ 38	22	34	44	△ 22	16	11	45	44	△ 33	△ 11
	運輸業	△ 8	27	46	27	0	8	0	100	0	0	0
	サービス業	△ 29	0	56	44	△ 44	△ 15	0	56	44	△ 44	0
売上 (生産) 高	全産業	△ 19	14	51	35	△ 21	△ 2	8	59	33	△ 25	△ 4
	建設業	△ 9	9	55	36	△ 27	△ 18	0	45	55	△ 55	△ 28
	製造業	△ 9	10	70	20	△ 10	△ 1	30	50	20	10	20
	卸売・小売業	△ 37	22	34	44	△ 22	15	11	45	44	△ 33	△ 11
	運輸業	△ 8	25	42	33	△ 8	0	0	92	8	△ 8	0
	サービス業	△ 29	0	56	44	△ 44	△ 15	0	56	44	△ 44	0
経常利益	全産業	△ 29	8	47	45	△ 37	△ 8	2	55	43	△ 41	△ 4
	建設業	△ 9	0	64	36	△ 36	△ 27	0	45	55	△ 55	△ 19
	製造業	△ 73	0	30	70	△ 70	3	10	40	50	△ 40	30
	卸売・小売業	△ 25	22	34	44	△ 22	3	0	56	44	△ 44	△ 22
	運輸業	△ 8	17	41	42	△ 25	△ 17	0	75	25	△ 25	0
	サービス業	△ 29	0	67	33	△ 33	△ 4	0	56	44	△ 44	△ 11
雇用の 不足感	全産業	34	44	56	0	44	10	44	56	0	44	0
	建設業	45	45	55	0	45	0	45	55	0	45	0
	製造業	45	50	50	0	50	5	50	50	0	50	0
	卸売・小売業	25	33	67	0	33	8	33	67	0	33	0
	運輸業	50	50	50	0	50	0	50	50	0	50	0
	サービス業	12	38	62	0	38	26	38	62	0	38	0



6 道内の景況感

今期の道内の景況感BSIは  $\Delta 10$ （前期から2ポイント下降）

- ・ 業種別で見ると、卸売・小売業でマイナス幅が縮小、その他の業種でマイナス幅が拡大
- ・ 地域別で見ると、道北がプラスに転換、オホーツク、釧路・根室でマイナス幅が縮小、道南、道央、十勝でマイナス幅が拡大

来期の道内の景況感BSIは  $\Delta 15$ （今期から5ポイント下降）

図6 道内の景況感

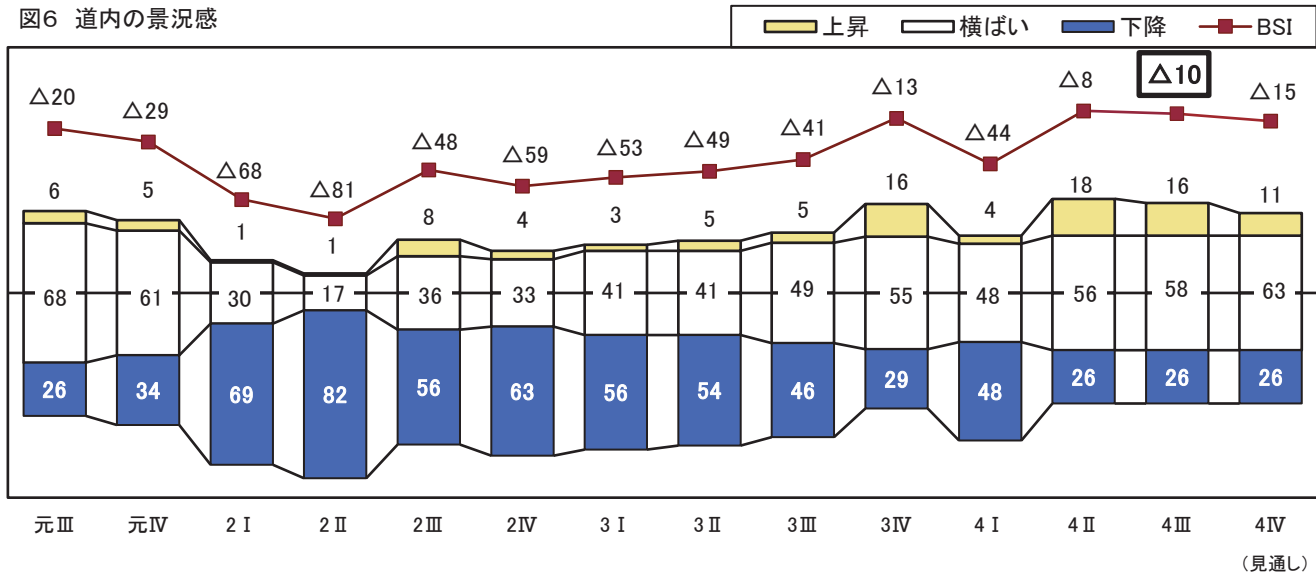


表6 道内の景況感(業種・資本金・地域別)

区分	R4年 4-6月 実績	R4年7-9月実績					R4年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総計	$\Delta 8$	16	58	26	$\Delta 10$	$\Delta 2$	11	63	26	$\Delta 15$	$\Delta 5$
札幌市を除く	$\Delta 12$	14	58	28	$\Delta 14$	$\Delta 2$	9	63	28	$\Delta 19$	$\Delta 5$
札幌市	6	20	58	22	$\Delta 2$	$\Delta 8$	17	64	19	$\Delta 2$	0
業種											
建設業	$\Delta 20$	5	65	30	$\Delta 25$	$\Delta 5$	2	66	32	$\Delta 30$	$\Delta 5$
製造業	$\Delta 11$	14	60	26	$\Delta 12$	$\Delta 1$	9	60	31	$\Delta 22$	$\Delta 10$
卸売・小売業	$\Delta 7$	25	48	27	$\Delta 2$	5	18	59	23	$\Delta 5$	$\Delta 3$
運輸業	$\Delta 9$	10	69	21	$\Delta 11$	$\Delta 2$	10	70	20	$\Delta 10$	1
サービス業	$\Delta 1$	20	53	27	$\Delta 7$	$\Delta 6$	13	63	24	$\Delta 11$	$\Delta 4$
資本金											
5千万円未満	$\Delta 14$	14	54	32	$\Delta 18$	$\Delta 4$	9	60	31	$\Delta 22$	$\Delta 4$
5千万円以上～1億円未満	$\Delta 1$	19	62	19	0	1	12	67	21	$\Delta 9$	$\Delta 9$
1億円以上	12	20	68	12	8	$\Delta 4$	16	73	11	5	$\Delta 3$
地域											
道南	$\Delta 7$	11	59	30	$\Delta 19$	$\Delta 12$	8	64	28	$\Delta 20$	$\Delta 1$
道央	$\Delta 3$	16	58	26	$\Delta 10$	$\Delta 7$	13	63	24	$\Delta 11$	$\Delta 1$
札幌市を除く	$\Delta 12$	11	58	31	$\Delta 20$	$\Delta 8$	8	64	28	$\Delta 20$	0
札幌市	6	20	58	22	$\Delta 2$	$\Delta 8$	17	64	19	$\Delta 2$	0
道北	$\Delta 7$	23	56	21	2	9	10	65	25	$\Delta 15$	$\Delta 17$
オホーツク	$\Delta 11$	16	64	20	$\Delta 4$	7	8	72	20	$\Delta 12$	$\Delta 8$
十勝	$\Delta 13$	10	62	28	$\Delta 18$	$\Delta 5$	12	56	32	$\Delta 20$	$\Delta 2$
釧路・根室	$\Delta 22$	14	51	35	$\Delta 21$	1	10	55	35	$\Delta 25$	$\Delta 4$

7 業種・地域別企業経営者の声（令和4年7－9月）

【建設業】

道南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今期は経費が大幅に増加。原油高に伴い、アスファルト価格は1 t当たり7.5万円から13万円に高騰した。（建設業）</li> <li>・ 原油価格高騰の影響をもろに受けている。原油価格が安定することを希望する。（土木工事業）</li> <li>・ 働き方改革や健康経営などへの取組みを積極的に実施している。積極的に取組んでいる法人へのインセンティブを充実してほしい。（一般土木建築工事業）</li> </ul>
道央	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルスで先が見えない。また、ウクライナのダメージが経済、経営に響いているが、時代の波に乗り遅れることなく事業を回して行く所存。明るい社会の姿を早く見たい。（建築工事業）</li> <li>・ 建設業界としては、働き方改革やカーボンニュートラルを目指す脱炭素社会の構築に向けた取組みを展開していかなければならないものとする。（総合建築業）</li> <li>・ 受注件数は右肩上がりではあるが、木材価格の高騰や半導体不足による住宅設備の供給制約などにより工事施工金額が高騰し、さらに土地も見つからないため、工期を延長せざるを得ない状態。（建設業）</li> <li>・ 新入社員を採用しても、数年間で大手メーカーに転職してしまう。（建設業）</li> <li>・ 各種材料の仕入価格が上昇し、収支を圧迫している。（建設業）</li> </ul>
道北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人材や資材不足、資材全般の価格高騰による受注機会の減少や利幅の減少などに加え、労務費の上昇も重なり厳しい経営にあり、設備投資が厳しい状況。（建築工事業）</li> <li>・ 売上が上がっても原価が上昇しているため、価格転嫁が難しい中では、利益率が下がり、資金繰り悪化が懸念。（電気通信・信号装置工事業）</li> <li>・ 足下の業績はよくないが、将来を見据えて即応力となる有資格者と若手の確保を積極的に進める。（建設業）</li> <li>・ 戸建てを中心に減少傾向にある中、原油高などが利益を圧迫。（木造建築工事業）</li> </ul>
オホーツク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共工事量が減少しており見通しがたたず、人や設備に投資しにくい環境にある。（一般土木建築工事業）</li> <li>・ 中国ロックダウンの影響を受けて在庫がほぼ無い状況。（内装工事業）</li> </ul>
十勝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従業員の高齢化や技術者の不足が懸念される。当社では今年度から外国人の採用に取り組んでいる。（土木工事業）</li> </ul>
釧路・根室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設資材等の高騰により工事価格が上昇し、工事案件の見直しや延期が生じることで、民間工事の受注減少を懸念している。（建築工事業）</li> <li>・ 原油価格高騰により増大したコストがすべて価格転嫁できるわけではないが、「単品スライド」の運用ルール改定により受注者側の負担が軽減されるようになった。（建設業）</li> </ul>

【製造業】

道南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕入関係が大幅に値上がりしている中、中小零細企業は販売価格に転嫁できない。現状を把握し具体的な対策を早急を実施してほしい。(水産食料品製造業)</li> <li>・原材料等の値上がりを受け、売上は減少傾向にある。今後、商品価格を1割程度値上げする予定。(パン・菓子製造業)</li> <li>・イカ等の不漁が続き、新たにブリで商品開発を検討。(水産食品加工業)</li> <li>・ウッドショックにより木材価格が高騰したが、販売価格に転嫁できた。梱包材や集材材ともに受注増加。(木材製造業)</li> </ul>
道央	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場内では感染対策を取っているが、家族の罹患等で欠勤する従業員もおり、現場では対応に苦慮。生産性が若干下がった状態が続いている。(外衣・シャツ製造業)</li> <li>・弊社では自動車のばね製品用部材を製造しており、国内の自動車生産が回復しない限り、増益が見込めず、いかにコストを抑え効率よく製造するかが課題であり、非効率な設備の休止や製造オペレータの勤務体系を変更し集中生産、集中稼働を更に実施して行かなくてはならない。先行きの見通しは、メーカーの設計変更等に伴い更に厳しい状況が見込まれるため、代替製品の開発や既存品の価格競争力をつけていく事が必須。(鋼材製造業)</li> <li>・価格転嫁したいが、顧客離れが懸念され、体力がいつまで続くか不安。新たなエンドユーザーの獲得、新商品・新サービスを開発したいと考えている。(水産食料品製造業)</li> <li>・原材料価格や包装資材、電気料金等が高騰しているが、顧客が離れないよう、利益を抑えてでも値上げしないよう努力している。(水産食品製造業)</li> <li>・海外に輸出する際、様々なリスクがあるので、現地企業の信用度など、現地情報がほしい。(清酒製造業)</li> <li>・為替の影響等により輸入木材の価格が安定しない。(木材製品製造業)</li> </ul>
道北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どさんこプラザシンガポール店への出店を通じ、現地業者から引き合いがあり、日本の売価の2倍で販売。利益率は高い。(水産食品製造業)</li> <li>・メーカーが今年1月に15%以上7月に15%以上値上げ。経営が非常に苦しい。(印刷業)</li> <li>・木材、石油精製品、部材等の値上げが相次ぎ、商品価格を上げたが、しばらくの間は買い控えが予想され、今年いっぱい苦戦が続くものと想定。(家具製造業)</li> <li>・従業員に感染が広まり、操業に支障が生じている。(製造業)</li> </ul>
オホーツク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料価格は高騰しているが、在庫で対応。物流費の値上がりについても、頻繁に製品を流通させていないので、影響は少ない。(家具製造業)</li> <li>・原材料価格の高騰に伴う値上げは行わず、内容量を1割程度減量した。海外向けの販売が思うように進まず円安の好機を活かせず、もどかしい。(食品製造・卸業)</li> <li>・北のハイグレード食品に応募。これを契機に販路拡大につなげたい。(乳製品製造業)</li> </ul>
十勝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小麦等仕入価格上昇を受けて値上げした結果、来店客数が減少。(パン・菓子製造業)</li> <li>・第7波の中、製造・販売スタッフに感染が広がり、業務継続のマネジメントが非常に厳しい状況。(パン・菓子製造業)</li> <li>・生乳高騰について大手スーパーは理解し値上げを容認してくれたが、燃料や輸送コストの転嫁は認めてもらえない。(乳製品製造業)</li> </ul>
釧路・根室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商談会でのつながりに助けられ、販路が広がり、売上は悪くない。(食品製造業)</li> <li>・ネット販売の他、自販機を設置して販売しており売れ行きは好調。(水産加工業)</li> </ul>

【卸売・小売業】

道南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送コスト増大に伴い運賃適正化に注力。さらに原材料コスト高騰等、対応しなければならぬ課題が山積。中小零細企業への手助けが今こそ必要。(建築資材卸売業)</li> <li>・原材料価格引上げが半期に2度の頻度で行われており、商品価格改定が追いつかず、さらに原油高・円安の影響をうけて資材等の値上げが著しい中、価格転嫁のタイミングが難しい。最低賃金引上げもあり価格見直しを検討。(菓子・パン小売業)</li> <li>・新型車需要はあるものの、半導体不足により人気車種は1年近く納車待ちとなるなど、供給が追いつかない。(自動車小売業)</li> </ul>
道央	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の3年間、売上増加策、販管費の削減、新商品開発や販路開拓などに注力してきたが、効果的な増収策を打ち出せない。(衣服卸売業)</li> <li>・部材の不足・納期遅れにより、工期を延長せざるを得ない案件を多々抱えている。来年も同様の状況が続くのではないかと危惧。(電気機械器具卸売業)</li> <li>・燃料費も含め配送コストが高騰。価格転嫁できるかが今後のカギ。(卸売業)</li> <li>・中国のロックダウン等の影響で商品在庫の確保が不安。(小売業)</li> </ul>
道北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人流が回復し旅行客も増え、売上増につながってきている。(小売業)</li> <li>・物価高騰が消費に影響を与えているほか、納期遅れの発生などにより売上につながらないケースが多く見られる。(小売業)</li> <li>・送別会等のイベントが開催できない代わりに花を贈る方が増え、売上が大きく減少することはなかった。(花植木小売業)</li> <li>・原材料や光熱費などが大きく上昇しているが、まだ価格転嫁が進んでおらず、値上げ時期と上げ幅が悩ましい。(小売業)</li> <li>・仕入価格上昇分を販売価格に反映させ、適正な利益の追求に努めていかなければならないと考えている。(卸売業)</li> <li>・仕入価格上昇分を売価に転嫁できないものもあり、厳しい状況。(卸売業)</li> </ul>
オホーツク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕入資材の高騰が続いているが、顧客にはご理解をいただいているものの、買い控えが多少増えてきている。(建築資材卸売業)</li> </ul>
十勝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車業界は著しく変化しており、時代に合わせた設備投資が必要。補助金等はなく、当社は自力で設備投資してきたが、経営は厳しい状態。加えて人材不足が課題。(自動車小売業)</li> </ul>
釧路・根室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小麦については、問屋の努力のおかげで、今のところ比較的安く購入できているが、値上げを予告されており、商品価格を上げるか検討中。(小売業)</li> </ul>

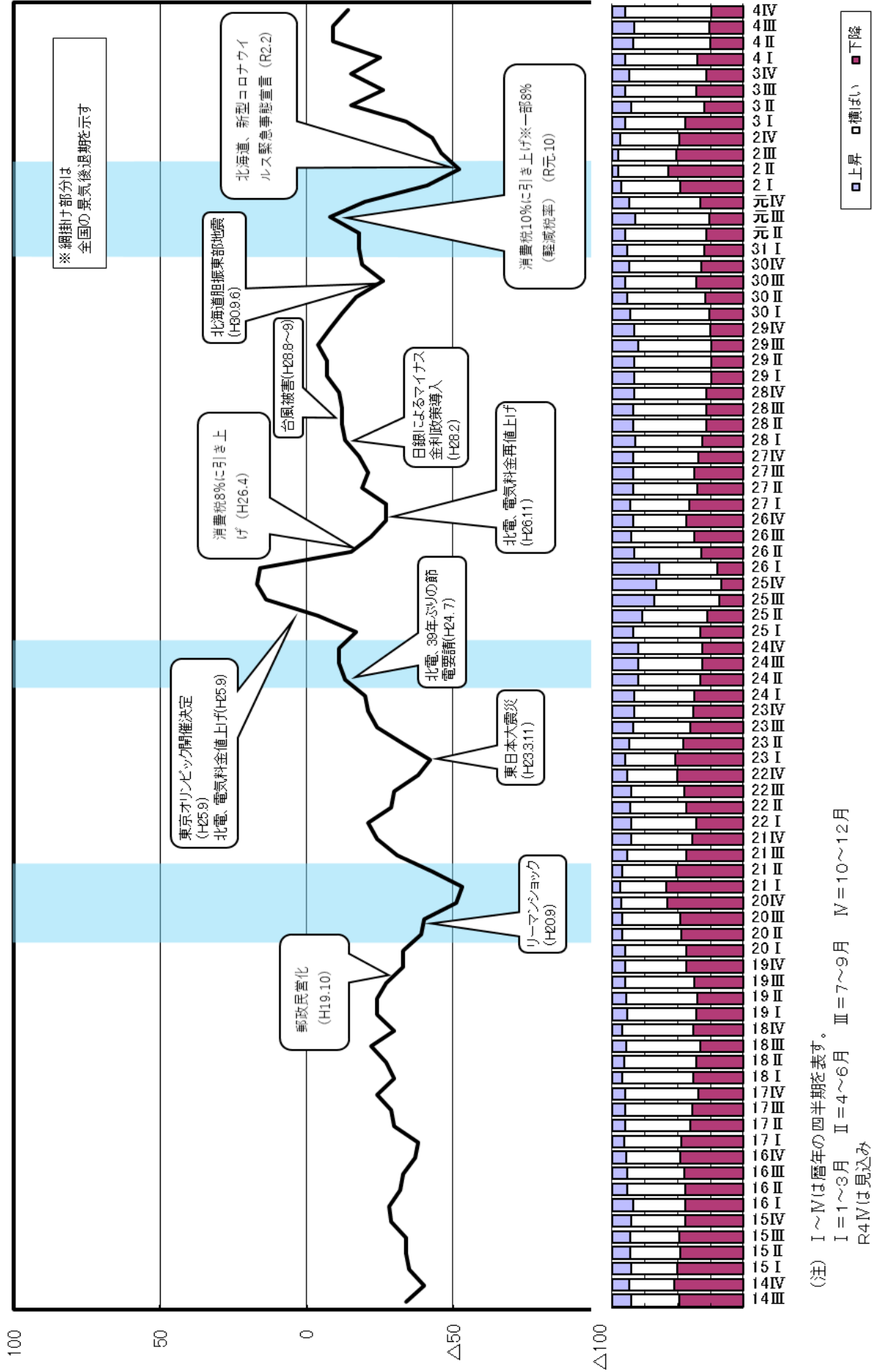
【運輸業】

道南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先行きが不透明なため、設備投資の判断が難しい。(一般貨物自動車運送業)</li> <li>・第7波の中、キャンセルはほとんど発生せず、客数はコロナ禍前の約6～7割に回復している。(一般乗合旅客自動車運送業)</li> </ul>
道央	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽油を筆頭に原燃料費が高騰し、売上高が前年並みをキープしても、経常利益が出ず、苦慮している。(倉庫業・運送業)</li> </ul>
道北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7波の感染拡大の影響でダイヤ改正や減便等を検討。(一般乗合旅客自動車運送業)</li> <li>・乗務員の高齢化などにより、現在の輸送体制の維持が困難となっており、減便や路線再編成などで運航効率化を図っていかねばならない。(一般乗合旅客自動車運送業)</li> <li>・乗務員不足が深刻化し、輸送体制の維持が困難な状況となってきた。(一般乗合旅客自動車運送業)</li> <li>・行動制限が無くイベント増加に伴い、都市間・市内路線ともに利用者増加を予想。(一般乗合旅客自動車運送業)</li> <li>・コロナ禍での利用者数減少、燃料価格高騰、乗務員不足が重なって、非常に厳しい状況が続いている。しかし、運賃値上、路線再編などは利用者への影響が大きく、慎重に検討しなければならない。(一般乗合旅客自動車運送業)</li> <li>・7月中旬以降感染者急増に伴い、貸切バスのキャンセルが増加し、予約数も伸び悩んでいる。さらに、従業員の感染も相次ぎ、人出不足が一段と厳しい状況。(一般貸切旅客自動車運送業)</li> <li>・7月後半から団体客等のキャンセルが相次いだり、お盆時期には予約が多数入り全国各地から観光客が来ている。(一般貸切旅客自動車運送業)</li> <li>・乗務員不足が深刻化し、輸送体制の維持が困難な状況。(一般貨物運送業)</li> </ul>
オホーツク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原油価格が高騰しているが、価格転嫁ができず厳しい状況。(運輸業)</li> <li>・燃料の高騰により、非常に厳しい事業運営が続いている。道などには助成金を支給していただいているが、基準としている年にはすでに価格が上がっていたので、実際の差額には対応できていない。(一般乗用旅客自動車運送業)</li> <li>・トラック運送業の下請と荷主との間の適正な取引の推進に向け尽力いただきたい。(一般貨物自動車運送業)</li> </ul>
十勝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転手不足と軽油高騰が続く中、危機感を強く持っている。(一般貨物自動車運送業)</li> <li>・社員の高齢化が進み、募集をしても応募がほとんど無い。事業承継に懸念がある。(一般貨物自動車運送業)</li> </ul>
釧路・根室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7波の中、乗務員を始め従業員に感染が拡大し、路線バス等の運行維持に不安を感じている。貸切バスの予約キャンセルは今のところ無いが、新規の予約が入らない。(一般乗合旅客自動車運送業)</li> <li>・下請企業に対する買いたたき等を防ぐための対策の強化を求める。(一般貨物自動車運送業)</li> <li>・原油価格高騰により輸送コストが上昇、運賃値上げを行っている。(運送業)</li> </ul>

【サービス業】

道南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な食材等が値上がりしており、燃油も高騰。酒・飲料の値上げに合わせて10月にメニューの再値上げを予定している。(飲食店)</li> <li>・仕入れるもの全てが値上がりし、経営が苦しい状態が続いている。(旅館・ホテル)</li> <li>・家族葬が増えたため売上が減少傾向にあり、町外にも対象を広げている。(葬儀業)</li> <li>・夏休み期間は、グループでの旅行客が回復傾向にあった。(旅行業者代理業)</li> <li>・コロナ感染・濃厚接触などでスタッフ不足となり、施設の定員を減らさざるを得なかった。(老人・福祉介護事業)</li> </ul>
道央	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料価格が高騰する中にも関わらず、銭湯の入浴料は都道府県知事が決めており、コスト上昇分を料金に転嫁することができず、困っている。(一般公衆浴場業)</li> <li>・コロナ禍、ロシア・ウクライナ情勢、資材高騰、材料不足、円安など様々な問題が山積している中、少しでも明るい話題が増えるよう、経営を通じて北海道の発展に貢献していく。(産業用機械器具賃貸事業)</li> <li>・周辺地域全体で観光への積極的な投資がみられ、人流が回復する中、売上増の傾向。一方で従業員に感染者も多くなり、オペレーションに苦勞。(旅館・ホテル)</li> <li>・お盆の宿泊予約は昨年より増えているが、コロナ前の約8割程度。(旅館・ホテル)</li> <li>・半導体の品薄状態が続き仕入量が減少し、経営に影響が出ている。(サービス業)</li> </ul>
道北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍以降、客室やレストランを改装し、団体客から個人客にターゲットを転換。口コミなどで集客力の向上を図ることができた。(旅館・ホテル)</li> <li>・第7波の中予約キャンセルが増加。(飲食業)</li> <li>・観光需要が回復しているが、人出不足のため半分程度の予約とせざるを得ず、収益は厳しい。(宿泊業)</li> </ul>
オホーツク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の連休やお盆期間は行動制限がなく、客足は若干回復傾向にある。(飲食店)</li> <li>・パートやアルバイトが足りず、求人を出しているが全く応募がない。最盛期に機会ロスが生じかねず、困っている。(飲食店)</li> <li>・小麦粉や野菜、海産物等の食材が値上がりし、特に食用油は昨年と比べ2倍近い値上がり。複数業者と取引しなるべく安く仕入れ、価格転嫁せずに努力。飲食業は10円の差が客足に響くため、価格転嫁のタイミングが難しく、客足が回復しない限り経営は厳しい。(飲食店)</li> </ul>
十勝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理師不足等により、予約数を7～8割程度に抑え、ランチ提供を中止している。求人を出しているが全く応募がない。(飲食店)</li> </ul>
釧路・根室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前の客足が戻らず売上が減少傾向のままである。(飲食業)</li> </ul>

# 8 業況感の長期推移



### 3 特別調査

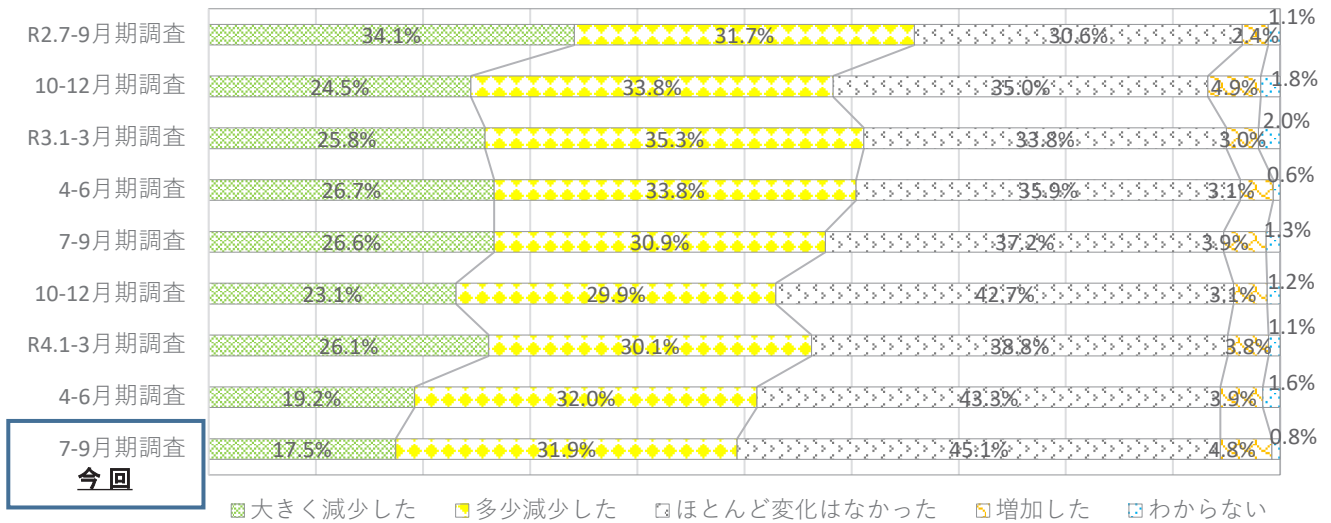
#### 1 経営状況

##### 1 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について

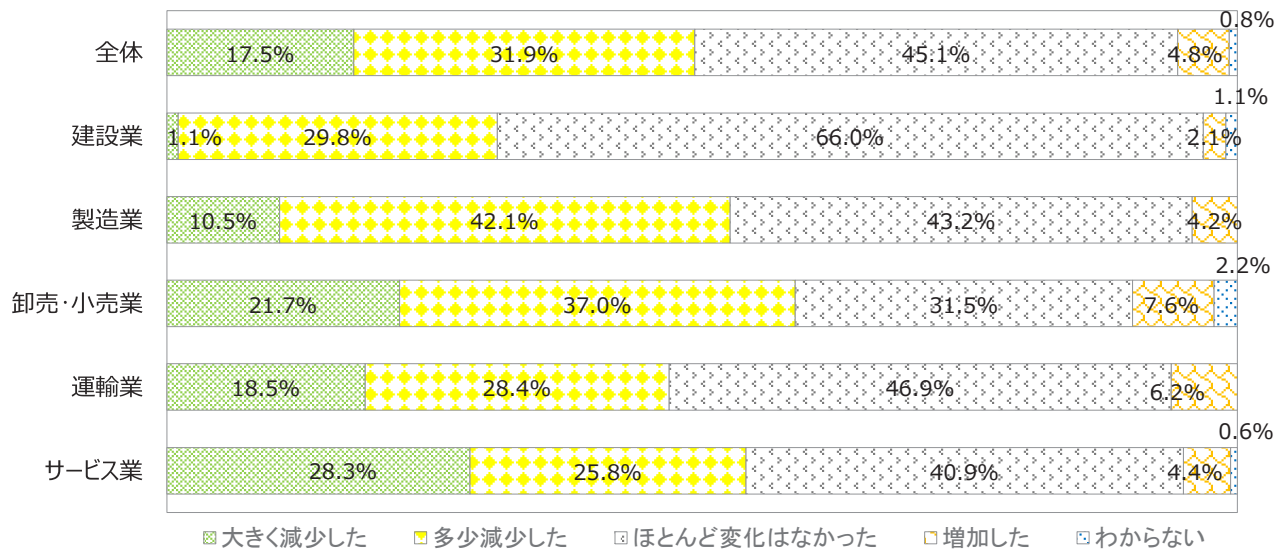
###### (1) 売上・利益等への影響の程度

平年の同時期と比較した本年7-9月における売上・利益等への影響については、全体では「大きく減少した」と回答した企業の割合が17.5%、「多少減少した」が31.9%と、合わせて49.4%の企業が「減少した」と回答しており、前回調査との比較では、「減少した」の割合は縮小している。

**全体** 「大きく減少した」 + 「多少減少した」 = 49.4% (4-6月期 : 51.2%) 1.8ポイント改善



業種別では、「大きく減少した」と回答した企業の割合は、サービス業が28.3%と最も大きく、次いで卸売・小売業が21.7%となっており、建設業が1.1%と最も小さくなっている。



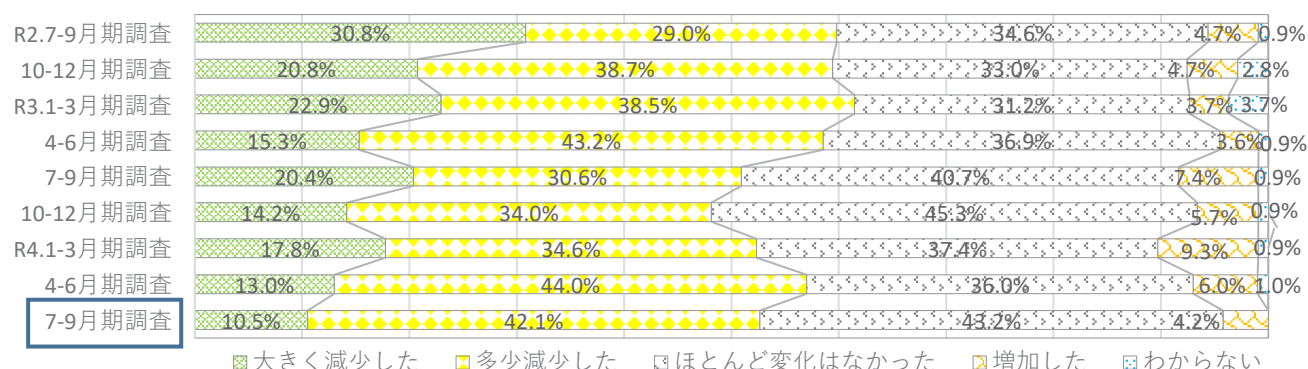


前回調査（4-6月期）との比較では、「大きく減少した」と「多少減少した」と合わせた「減少した」の割合は、建設業、製造業、運輸業で改善、卸売・小売業、サービス業で悪化。

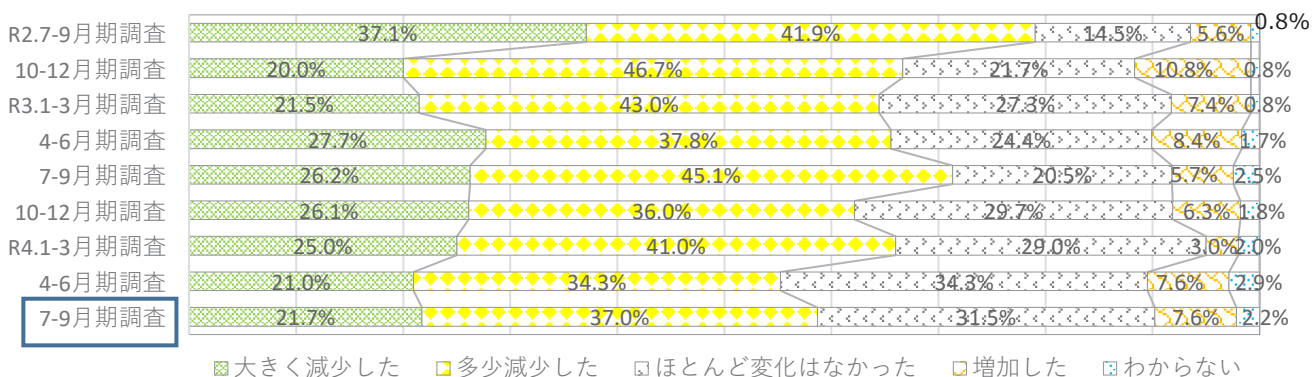
**建設業** 「大きく減少した」 + 「多少減少した」 = 30.9% （4-6月期：32.2%）1.3ポイント改善



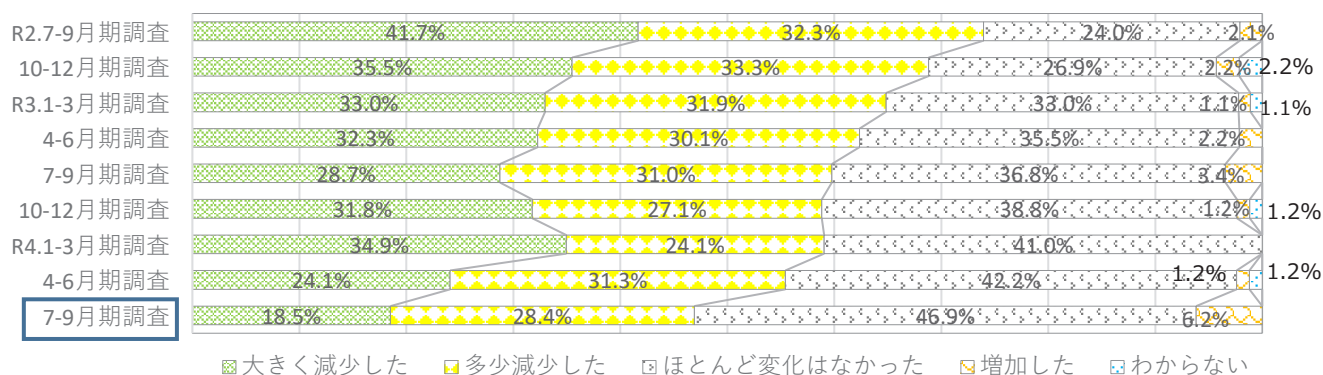
**製造業** 「大きく減少した」 + 「多少減少した」 = 52.6% （4-6月期：57.0%）4.4ポイント改善



**卸売・小売業** 「大きく減少した」 + 「多少減少した」 = 58.7% （4-6月期：55.3%）3.4ポイント悪化

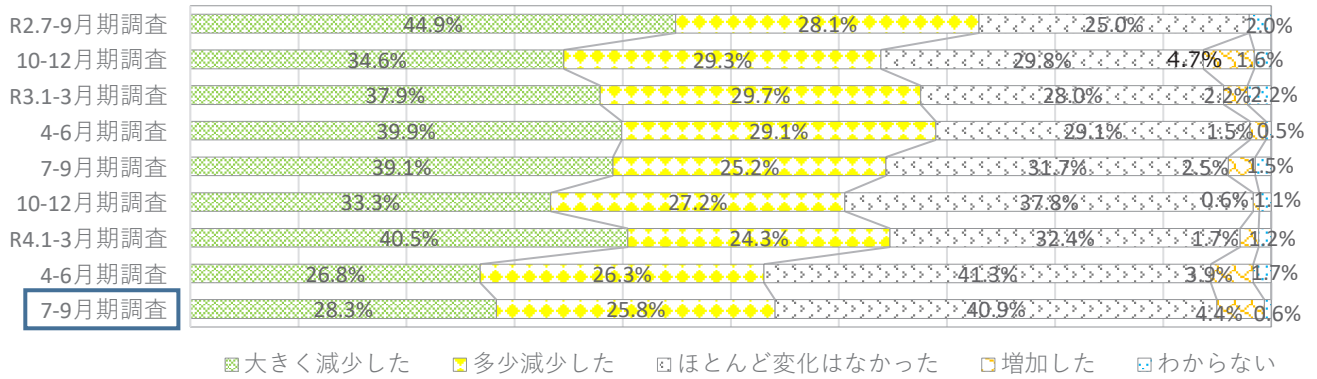


**運輸業** 「大きく減少した」 + 「多少減少した」 = 46.9% （4-6月期：55.4%）8.5ポイント改善



**サービス業**

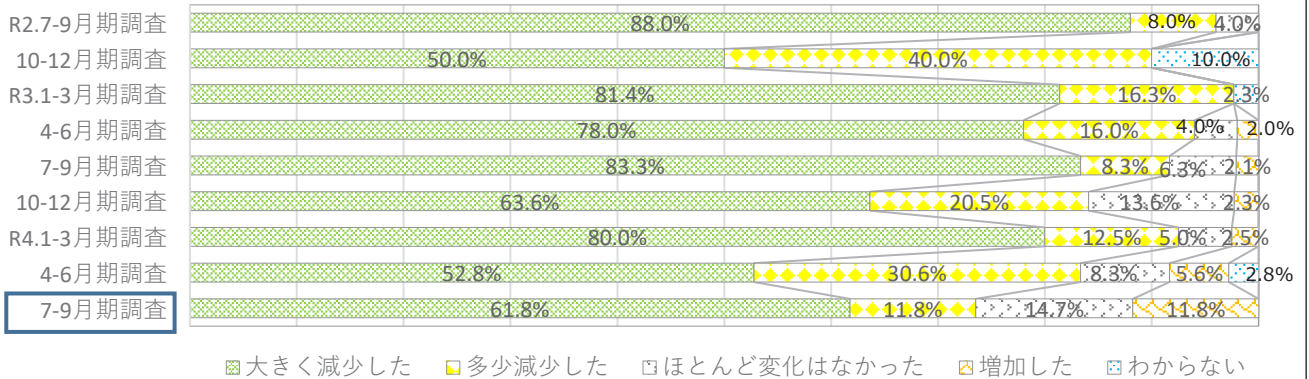
「大きく減少した」 + 「多少減少した」 = 54.1% (4-6月期 : 53.1%) 1.0ポイント悪化



(サービス業のうち)

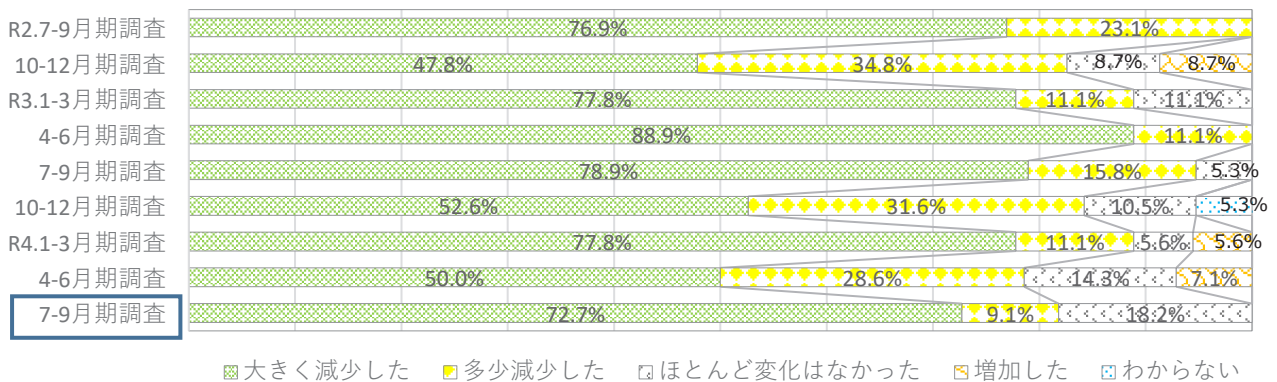
**宿泊・旅行業**

「大きく減少した」 + 「多少減少した」 = 73.6% (4-6月期 : 83.4%) 9.8ポイント改善



**飲食業**

「大きく減少した」 + 「多少減少した」 = 81.8% (4-6月期 : 78.6%) 3.2ポイント悪化



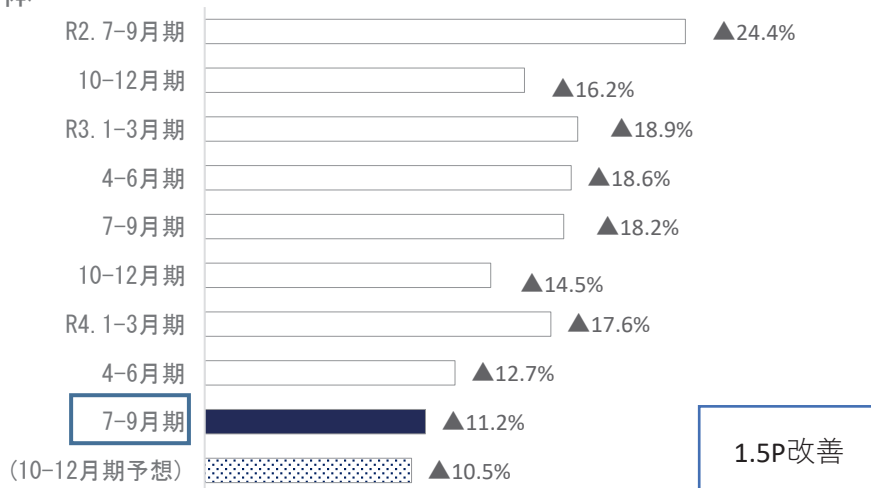
## (2) 売上の平年同期比減少率

令和4年7-9月期の売上の平年同期比増減率は、全体平均では▲11.2%となり、業種別では、サービス業が▲13.6%と最も減少率が大きく、次いで卸売・小売業が▲13.0%となっている。

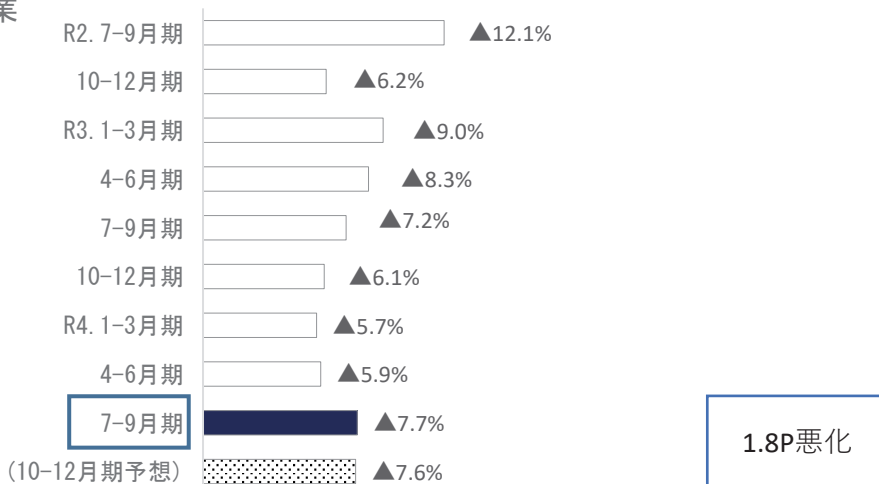
前回調査(4-6月期)との比較では、全体で1.5ポイント改善しており、業種別では、サービス業が3.9ポイント、製造業2.5ポイント、運輸業が0.3ポイント改善し、建設業が1.8ポイント、卸売・小売業が0.5ポイント悪化している。

令和4年10-12月期の予想は、全体で0.7ポイントの改善となり、業種別でも、製造業を除いて改善となっている。

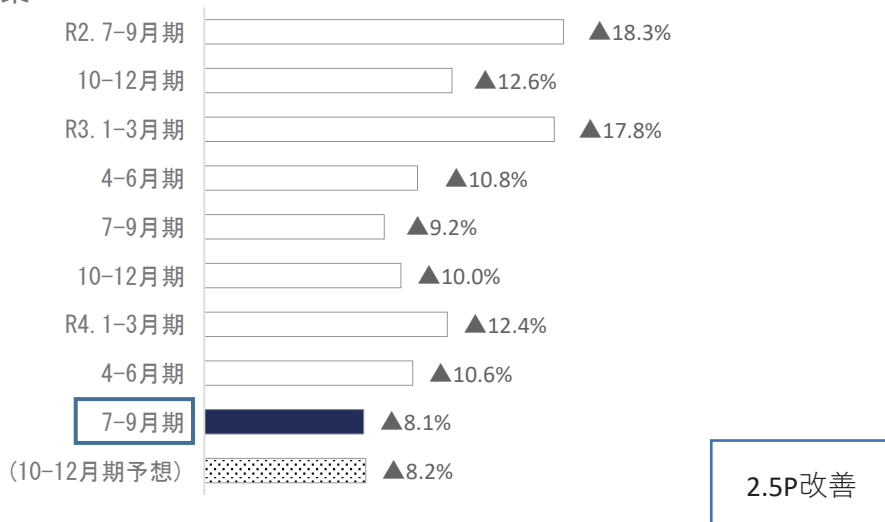
### 全体



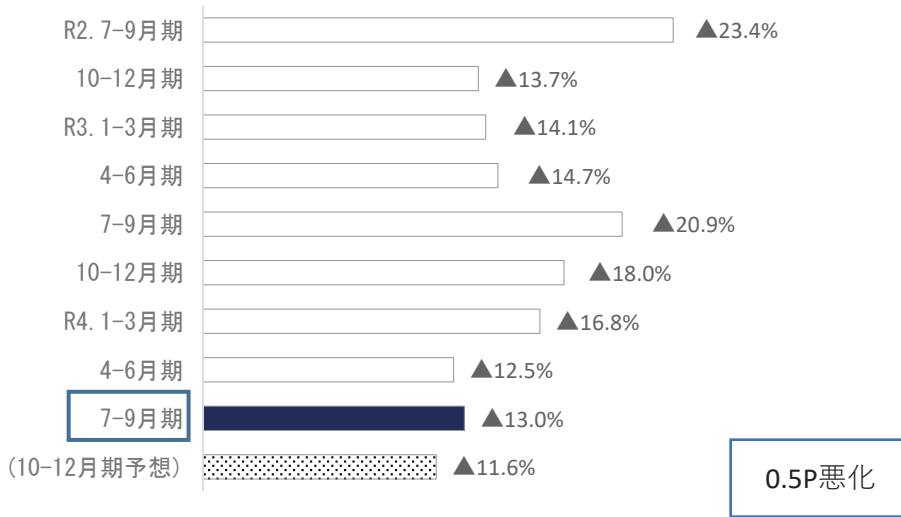
### 建設業



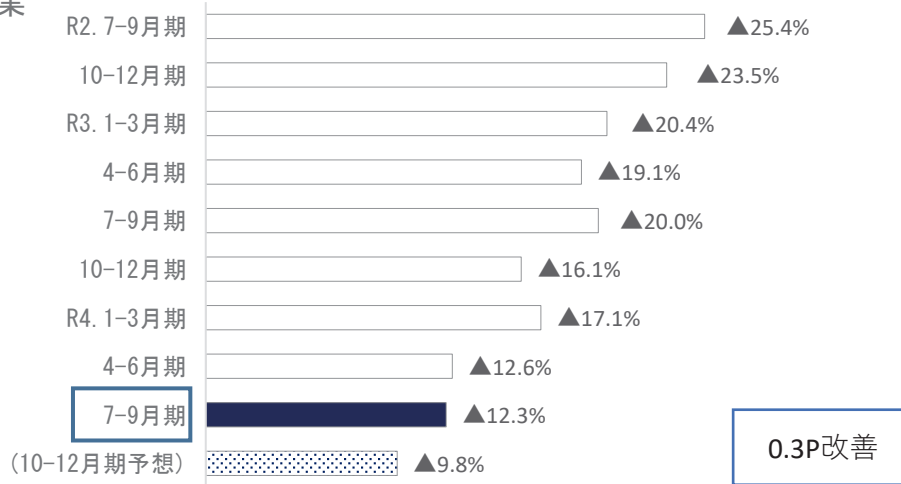
### 製造業



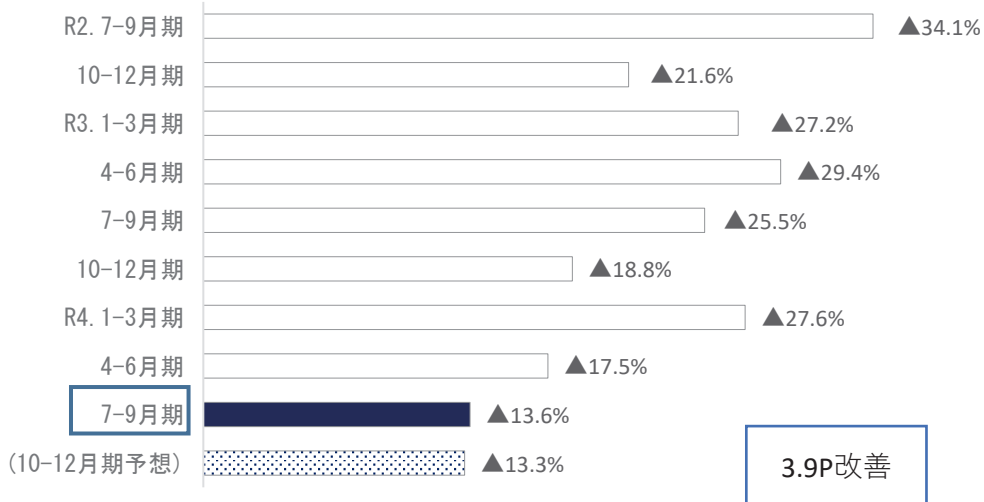
### 卸売・小売業



### 運輸業



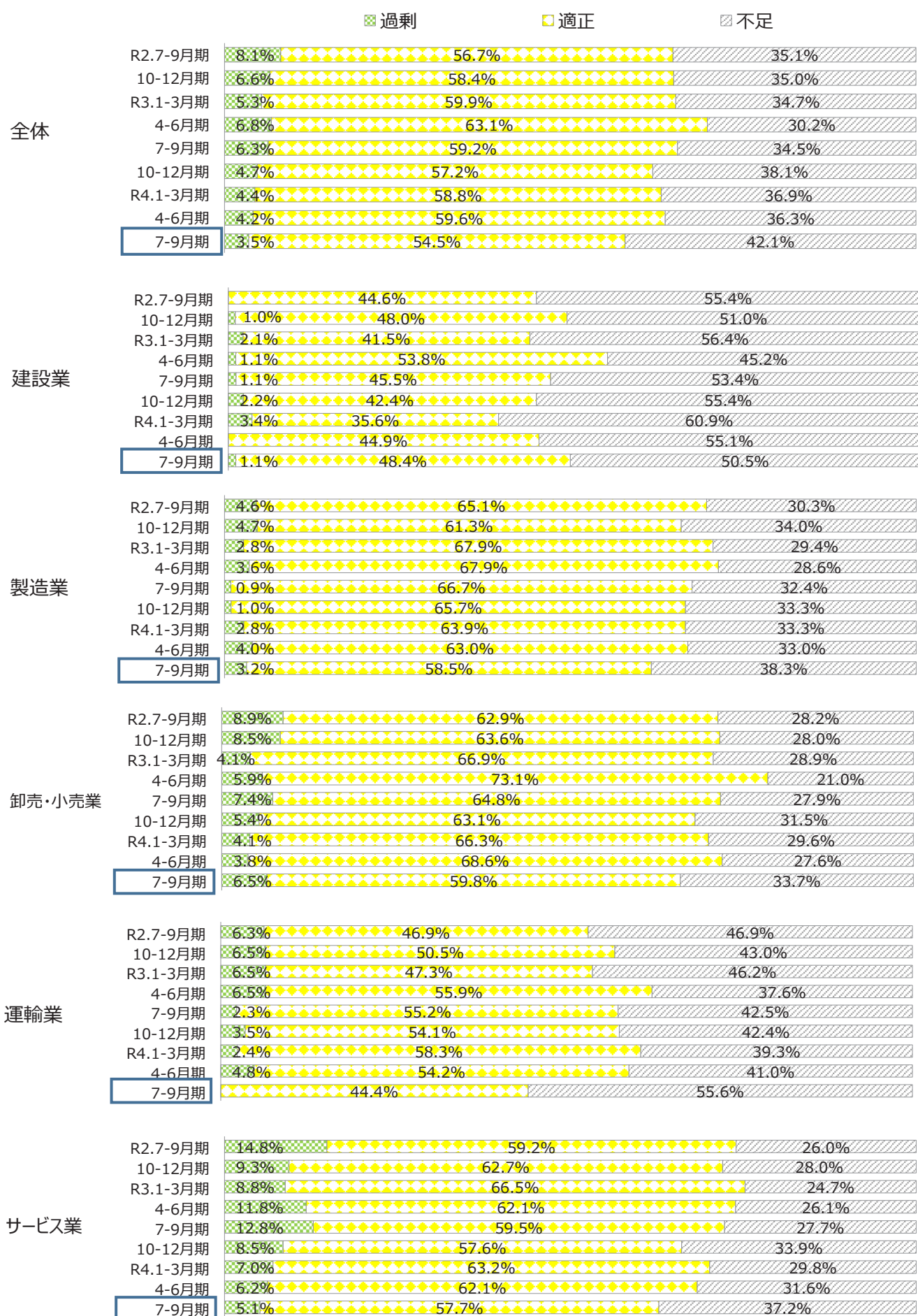
### サービス業



### (3) 正規及び非正規従業員の過不足感

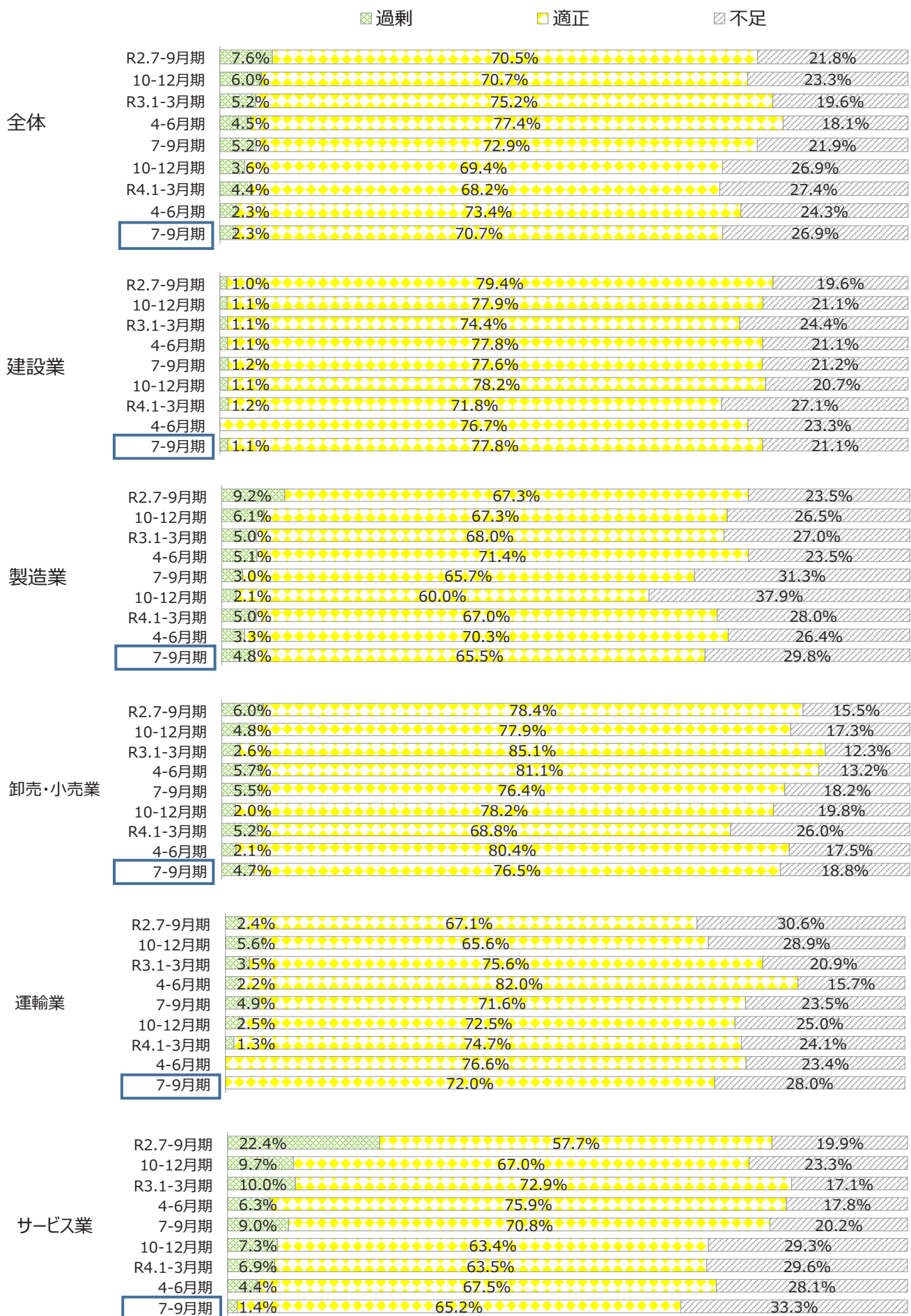
#### ① 正規従業員

正規従業員の過不足感については、全体では「過剰」と回答した企業の割合が3.5%、「適正」が54.5%、「不足」が42.1%となっており、不足感が過剰感を上回っており、前回調査との比較では、不足の割合は全体では5.8%、建設業以外の業種で拡大し、特に運輸業で大幅に拡大（14.6%）。



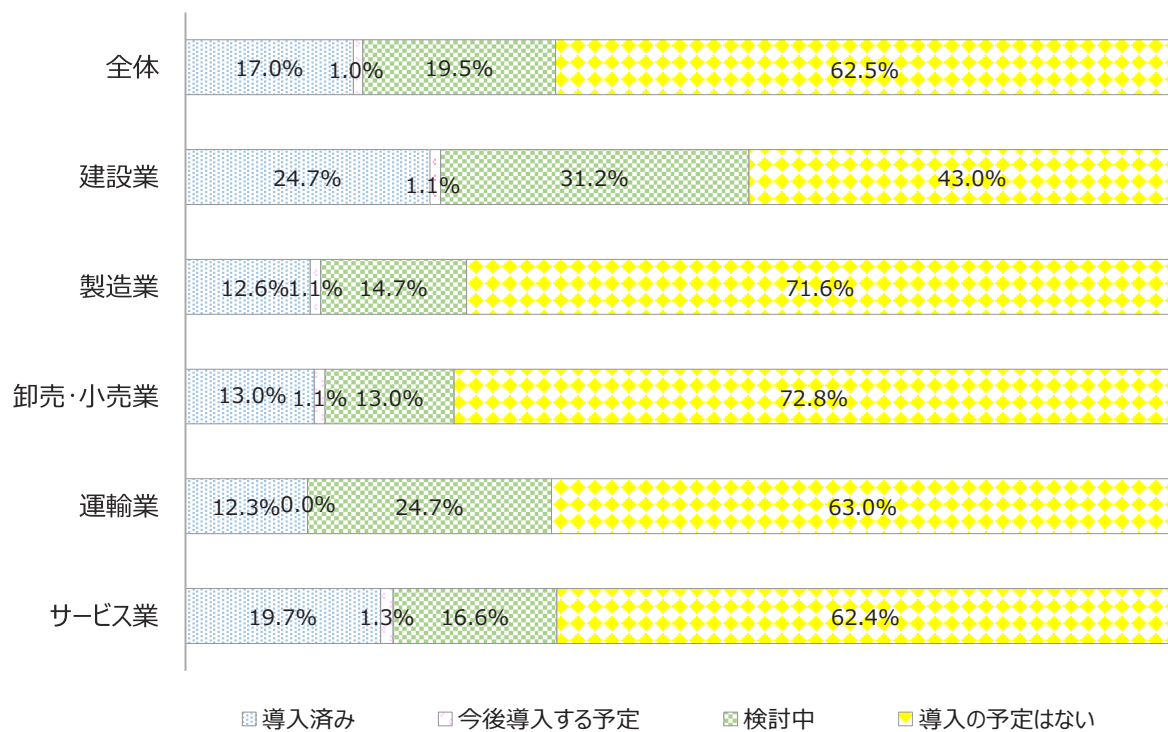
## ②非正規従業員

非正規従業員の過不足感については、全体では「過剰」と回答した企業の割合が2.3%、「適正」が70.7%、「不足」が26.9%となっており、不足感が過剰感を上回っており、前回調査との比較では、不足の割合は全体で2.6%、建設業以外の業種で拡大し、特にサービス業で大幅に拡大(5.2%)。



#### (4) テレワークの導入状況

接触機会の低減策として有効なテレワークの導入については、「導入済み」と回答した企業の割合は、全体では17.0%となり、業種別では、建設業が24.7%と最も大きく、運輸業が12.3%と最も小さくなっている。

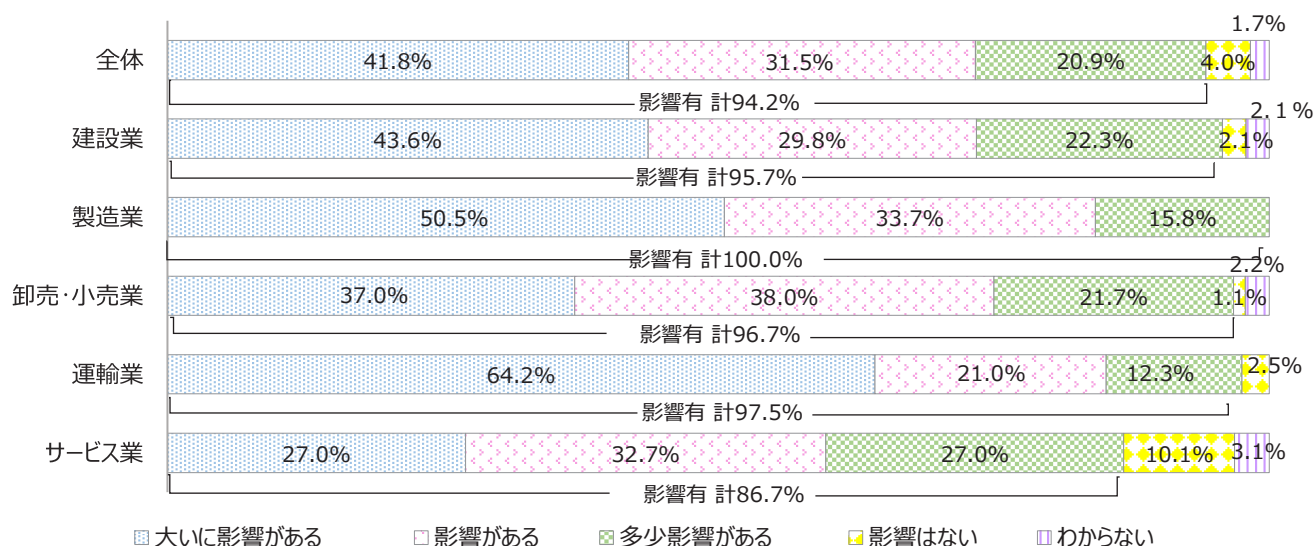


## 2 原油・原材料価格高騰の影響について

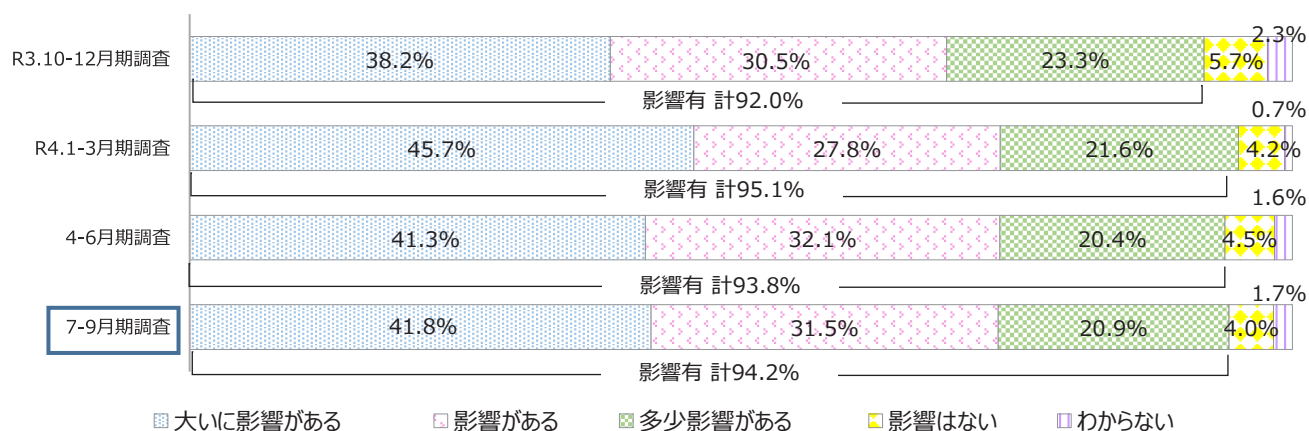
### (1) 経営への影響

原油・原材料価格高騰の経営への影響については、全体では「大いに影響がある」と回答した企業の割合が41.8%と最も大きく、「影響がある」の31.5%、「多少影響がある」の20.9%と合わせて、94.2%の企業が「影響がある」と回答している。

業種別でみると、「大いに影響がある」と回答した企業の割合は、運輸業64.2%と最も大きく、次いで製造業が50.5%となっており、サービス業が27.0%と最も小さくなっている。

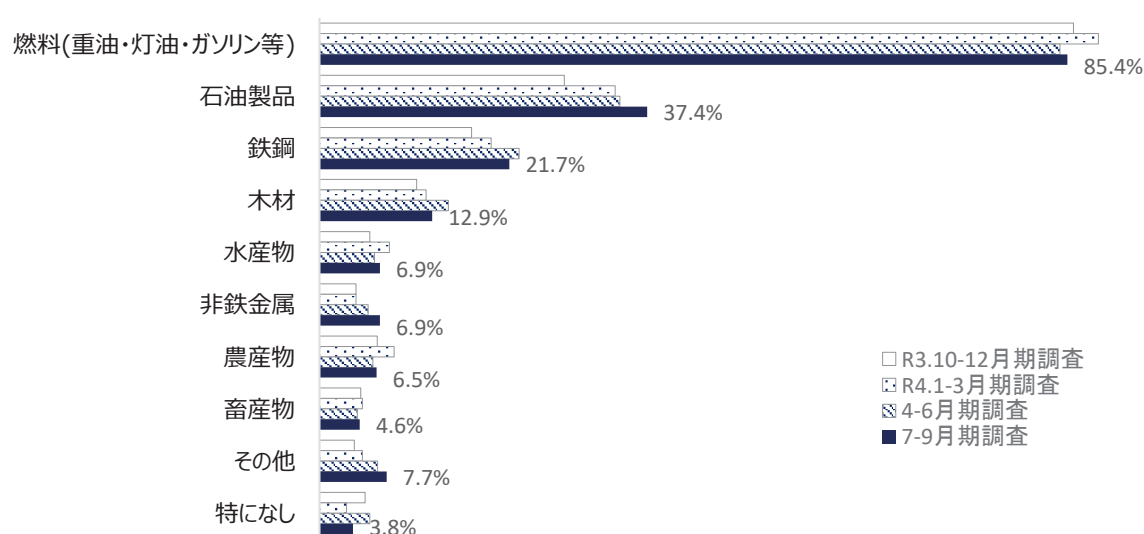


調査開始以降、「大いに影響がある」「影響がある」「多少影響がある」を合わせた「影響がある」と回答した企業の割合は9割を超え、高い水準で推移している。



### (2) 経営に影響を与えている品目

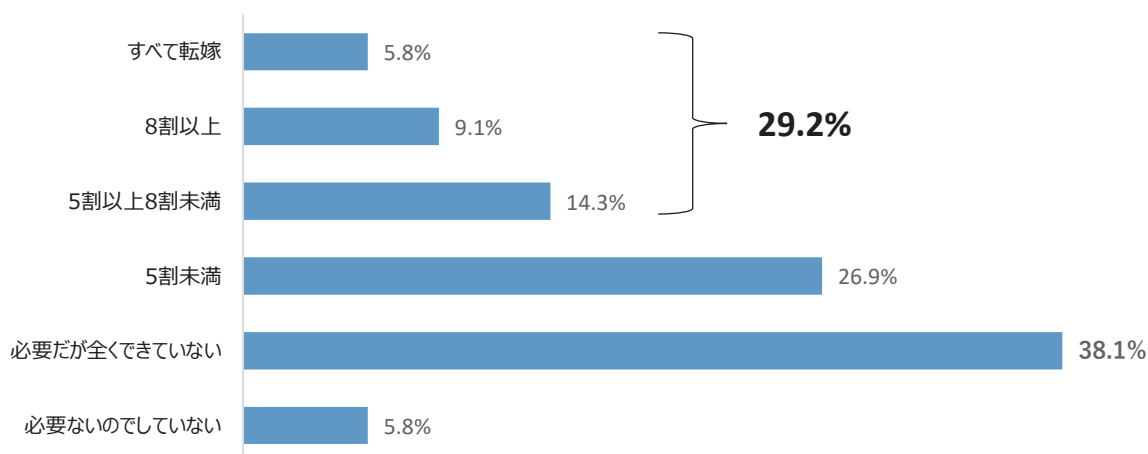
経営に影響を与えている品目について最も多かった回答は、「燃料（重油・灯油・ガソリン等）」の85.4%で、次いで「石油製品」が37.4%、「鉄鋼」が21.7%となっている。（複数回答）



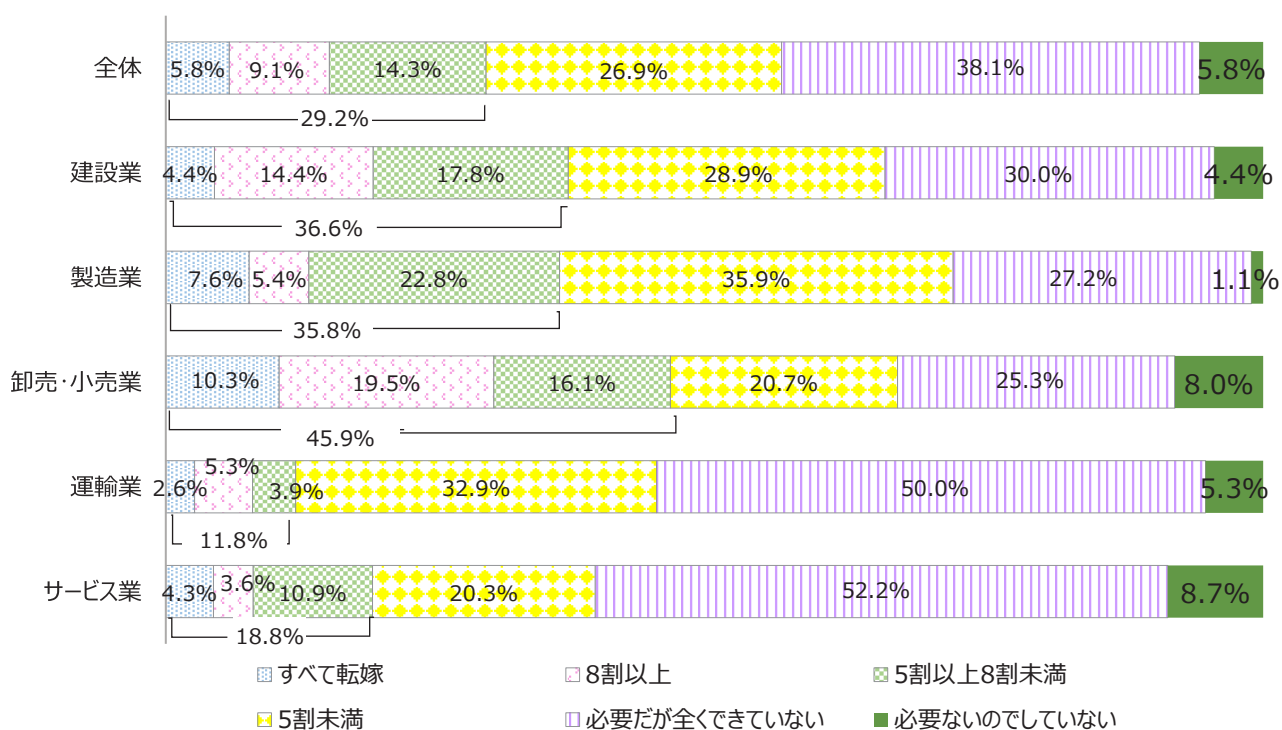


### (3) 価格転嫁の状況

価格転嫁の状況については、5割以上価格転嫁できている企業は29.2%となった。一方、「必要だが全く価格転嫁ができていない」企業は38.1%となっている。

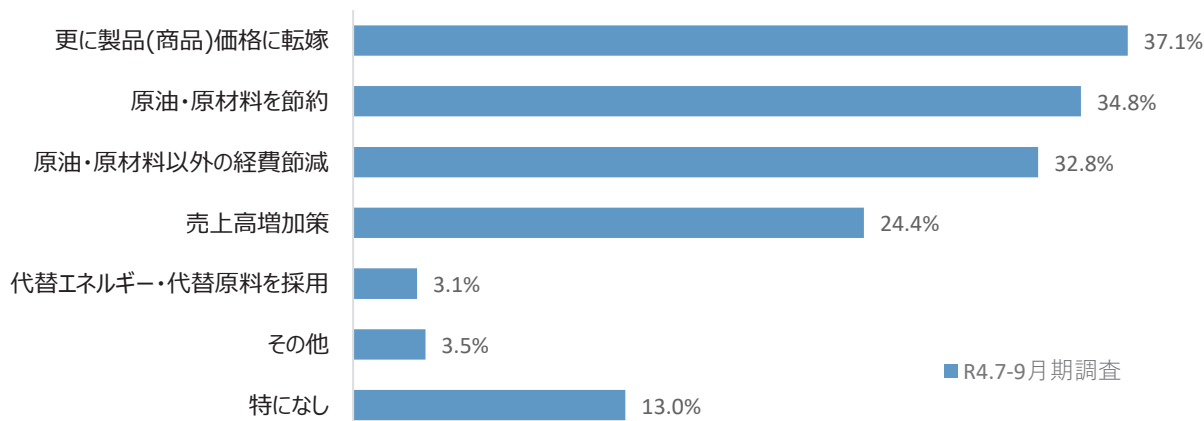


業種別では、卸小売業で価格転嫁が進んでいる一方、運輸業やサービス業では価格転嫁が進んでいない。



### (4) 経営への影響緩和対策

経営への影響緩和のため、今後、「更に製品（商品）価格に転嫁する」が37.1%、次いで「原油・原材料を節約する」が34.8%、「原油・原材料以外の経費を節減する」が32.8%と続いている。



## 4 調査方法

### 1 調査内容

道内の企業経営者に対し、自社の経営状況や景気の見通し、経営を取り巻く環境変化などについて四半期毎に調査を実施

### 2 調査時点

令和4年9月30日

### 3 調査方法

「郵送」又は「インターネット」によるアンケート調査

### 4 調査対象及び回答企業数

区分		調査対象 企業数 (A)	回 答 企業数 (B)	回答率
				(B/A・%)
総 計		900	521	57.9%
札幌市を除く		701	404	57.6%
札幌市		199	117	58.8%
業 種	建設業	125	94	75.2%
	製造業	150	95	63.3%
	卸売・小売業	188	92	48.9%
	運輸業	131	81	61.8%
	サービス業	306	159	52.0%
資 本 金	5千万円未満	618	344	55.7%
	5千万円以上～1億円未満	156	102	65.4%
	1億円以上	126	75	59.5%
道南		109	61	56.0%
道央		382	228	59.7%
札幌市を除く		183	111	60.7%
札幌市		199	117	58.8%
道北		132	81	61.4%
オホーツク		89	50	56.2%
十勝		94	50	53.2%
釧路・根室		94	51	54.3%

(注) [道南]・・・渡島総合振興局、檜山振興局  
 [道央]・・・空知総合振興局、石狩振興局、後志総合振興局、胆振総合振興局、日高振興局  
 [道北]・・・上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局  
 [オホーツク]・・・オホーツク総合振興局  
 [十勝]・・・十勝総合振興局  
 [釧路・根室]・・・釧路総合振興局、根室振興局

### 5 B S I (Business Survey Index) 指標について

この調査では、企業経営者の業況感等について、当該四半期の状況を前年同期と比較して（景況感は前期）、「上昇」「横ばい」「上昇」の選択肢により調査し、各BSI指標を次により算出。

$$BSI = (\text{「上昇」とする企業の割合}(\%)) - (\text{「上昇」とする企業の割合}(\%)) \\ (-100 \leq BSI \leq 100)$$

#### 【計算例（企業数：200社）】

業況感について、「上昇」とした企業20社、「横ばい」とした企業120社、「上昇」とした企業60社の場合

$$\frac{20 \text{ 社}}{200 \text{ 社}} \times 100 - \frac{60 \text{ 社}}{200 \text{ 社}} \times 100 = 10\% - 30\% = -20$$

よって、この場合の業況感BSIはマイナス20 ※小数点以下の端数がある場合は四捨五入

その先の、道へ。 **北海道**

企業経営者意識調査（第135回）

令和4年10月発行

---

編集・発行北海道経済部経済企画局経済企画課  
TEL 011-204-5139

---

「企業経営者意識調査」の結果は、経済企画課のウェブサイトでもご覧いただけます。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/bsi.html>